

須 坂 市
次世代育成支援に関するニーズ調査
報 告 書

<目次>

I	調査概要	40
1	調査目的	40
2	調査事項	40
3	調査実施概要	40
4	回収状況	40
5	報告書内のデータ記述について	40
II	就学前児童調査結果	41
1	児童と家族の状況について	41
2	児童の親の就労状況について	42
3	保育サービスの利用について	43
4	病児・病後児の対応について	45
5	一時保育のことについて	46
6	宿泊を伴う一時保育のことについて	46
7	放課後児童クラブの利用について	46
8	ベビーシッターの利用について	47
9	ファミリーサポートセンターの利用について	47
10	子育て支援サービスについて	47
11	育児休業制度の利用について	49
12	子育てに関する一般的質問について	49
III	小学生児童調査結果	51
1	児童と家族の状況について	51
2	児童の親の就労状況について	52
3	放課後児童クラブの利用について	53
4	病児・病後児の対応について	54
5	一時預かりのことについて	54
6	宿泊を伴う一時預かりのことについて	54
7	ベビーシッターの利用について	55
8	ファミリーサポートセンターの利用について	55
9	子育てについての一般的質問について	55
IV	自由意見	58
1	就学前児童	58
2	小学生児童	62

I 調査概要

1 調査目的

「須坂市次世代育成支援行動計画（後期）」（平成 22 年度～26 年度）の策定に向けて、市民の子育て支援に関する生活実態や要望・意見などを把握するために、「次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施した。

2 調査事項

■就学前児童

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| (1) 児童と家族の状況について | (7) 放課後児童クラブの利用について |
| (2) 児童の親の就労状況について | (8) ベビーシッターの利用について |
| (3) 保育サービスの利用について | (9) ファミリーサポートセンターの利用について |
| (4) 病児・病後児の対応について | (10) 子育て支援サービスについて |
| (5) 一時保育のすることについて | (11) 育児休業制度の利用について |
| (6) 宿泊を伴う一時保育のすることについて | (12) 子育てに関する一般的質問について |

■小学生児童

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| (1) 児童と家族の状況について | (6) 宿泊を伴う一時預かりのすることについて |
| (2) 児童の親の就労状況について | (7) ベビーシッターの利用について |
| (3) 放課後児童クラブの利用について | (8) ファミリーサポートセンターの利用について |
| (4) 病児・病後児の対応について | (9) 子育てに関する一般的質問について |
| (5) 一時預かりのすることについて | |

3 調査実施概要

- (1) 調査地域：須坂市全域
- (2) 調査対象：①就学前児童…市内の就学前児童の保護者 1,000 人
②小学生児童…市内の小学生児童（1～3 年生）の保護者 500 人
- (3) 調査方法：①就学前児童…郵送配布・郵送回収
②小学生児童…学校配布・学校回収
- (4) 調査期間：平成 21 年 5 月 25 日～平成 21 年 7 月 10 日

4 回収状況

	配布数	有効回収数	回収率
就学前児童	1,000 件	607 件	60.7%
小学生児童	500 件	433 件	86.6%
合 計	1,500 件	1,036 件	69.1%

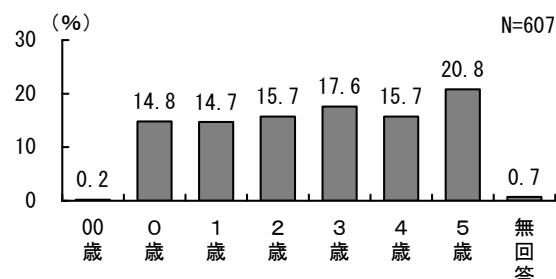
5 報告書内のデータ記述について

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入として算出した。そのために、比率の合計が 100%にならないことがある。
- (2) 基数とすべき実数は、図表中に「N」として記載した。比率はこの基数を 100%として算出した。
- (3) 質問の選択肢から複数の回答を認めている場合、比率の合計は 100%を超える。
- (4) 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピュータ処理の都合上、省略している箇所がある。

Ⅱ 就学前児童調査結果

1 児童と家族の状況について

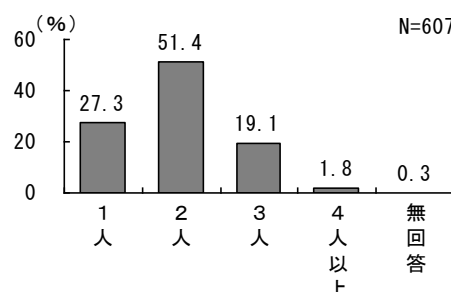
問1 子どもの年齢（学年区切り）



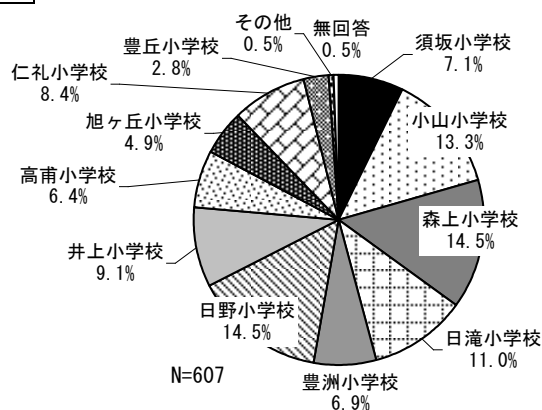
※00歳は平成21年4月以降生まれ

問2 子どもの人数、末子の年齢

子どもの人数：平均 2.0 人 末子の年齢：平均 2.0 歳



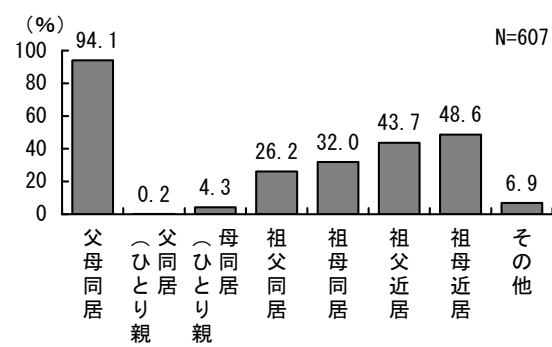
問3 居住地区（通学区）



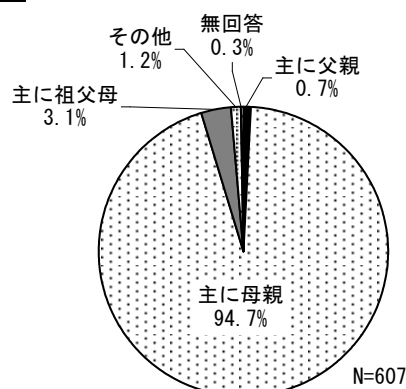
・子どもの人数は平均 2.0 人であり、末子の年齢の平均は 2.0 歳であった。

・子どもを預かってもらえる状況では、「いずれも預かってもらえない」人が 7.9% であった。また、預かってもらえている人でも、心理的に心苦しい人が、祖父母で約 4 人に 1 人、友人・知人で 4 割強とかがえる。

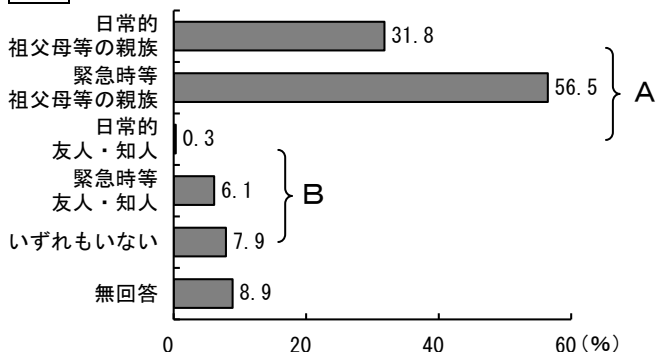
問4 同居・近居の状況



問5 主な身の回りの世話



問6 子どもを預かってもらえる人



問6-1・問6-2 預かってもらっている状況

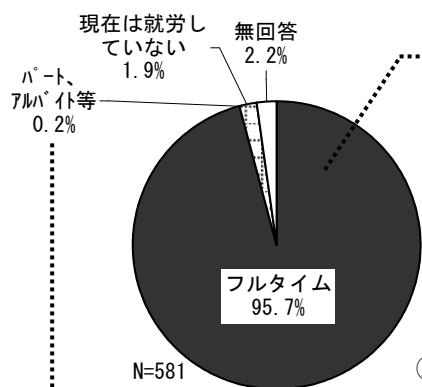
単位：%

	全体（人）	特に問題はない	身体的負担が大きい	時間的制約や精神的負担が大きい	が心苦しい	保護者の立場として、負担をにかけていること	その他
A	493	67.1	19.9	20.1	26.8	3.4	
B	38	39.5	10.5	26.3	44.7	10.5	

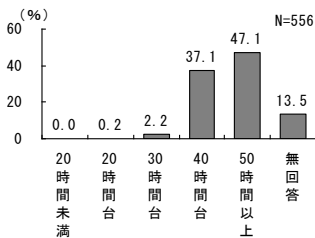
2 児童の親の就労状況について

問7(1) 父親

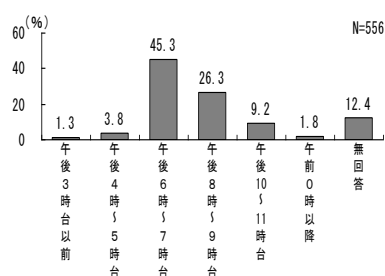
①フルタイム



1週当たりの平均就労時間



平均的な帰宅時間

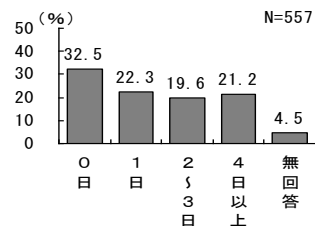


②パート、アルバイト

1人(1週当たりの平均就労日数: 5.5日、
1日当たりの平均就労時間: 8.0時間、
フルタイムへの転換希望:
希望はあるが予定はない 100%)

問7(1)-1 就労している父親

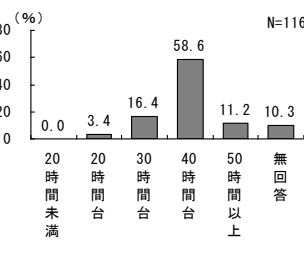
日曜・祝日の1月当たりの平均勤務日数



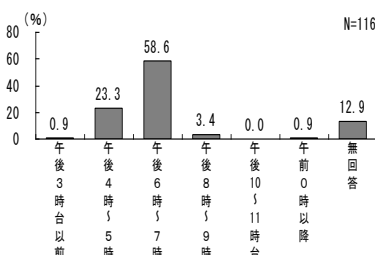
問7(2) 母親

①フルタイム

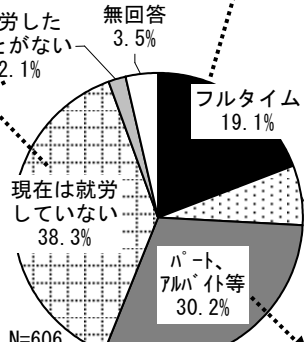
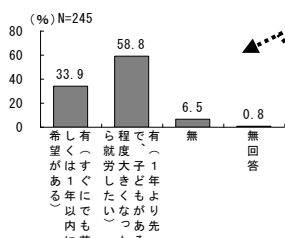
1週当たりの平均就労時間



平均的な帰宅時間



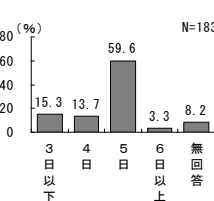
問8 就労希望



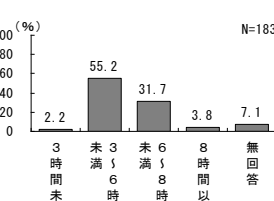
育休・介護休業中
6.8%

②パート、アルバイト

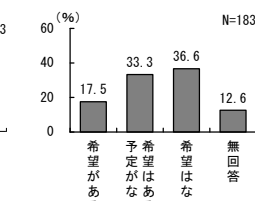
1週当たりの就労日数



1日当たりの就労時間



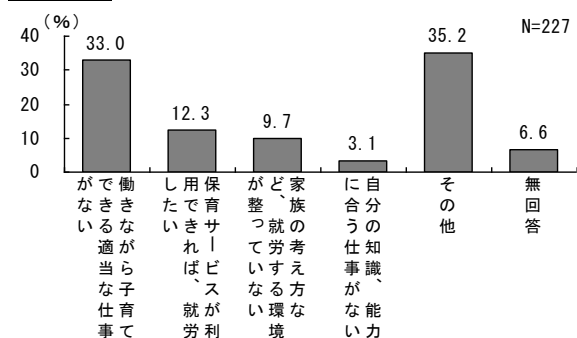
フルタイムへの転換希望



希望の就労形態
フルタイム: 13.2%
パート・アルバイト: 75.7%
(平均4.2日/週、5.3時間/日)
就労希望時の子どもの年齢
平均: 4.2歳

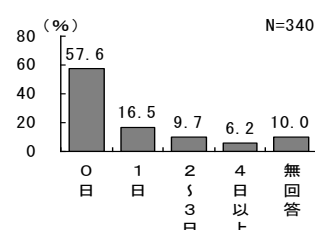
希望の就労形態
フルタイム: 15.7%
パート・アルバイト: 84.3%
(平均4.5日/週、4.9時間/日)

問8-2 就労希望がありながら、働いていない理由

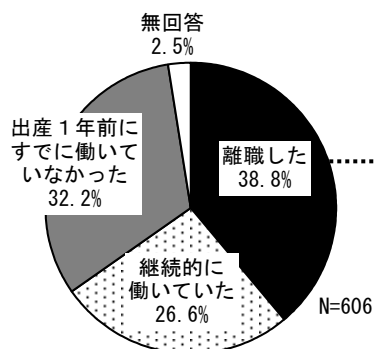


問7(2)-1 就労している母親

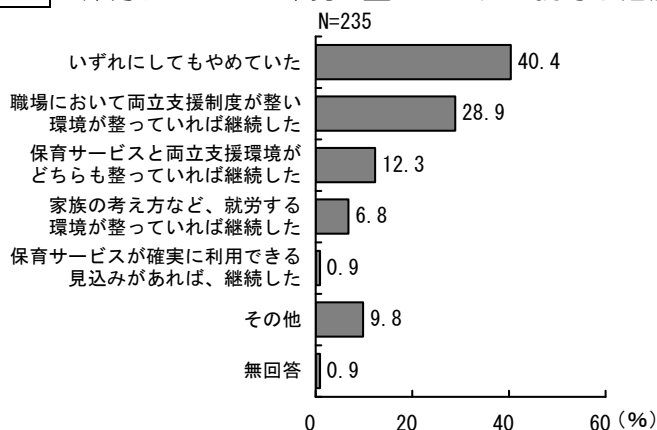
日曜・祝日の1月当たりの平均勤務日数



問9 出産前後の離職の有無



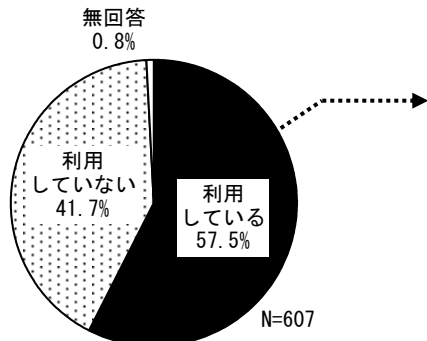
問9-1 保育サービス・環境が整っていれば就労を継続したか



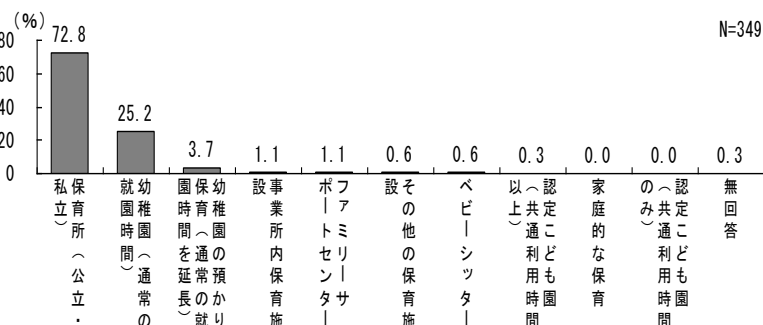
- ・母親の就労状況をみると、フルタイムが19.1%、パート・アルバイトが30.2%であり、約4割が現在就労していない。
- ・現在就労していない母親の9割強に今後就労意向があり、その内の約8割はパート・アルバイトでの勤務を希望している。
- ・出産前後の離職は約4割の割合であった。
また、その内の約半数は環境が整っていれば就労を継続したと回答している。

3 保育サービスの利用について

問10 保育サービスの利用の有無



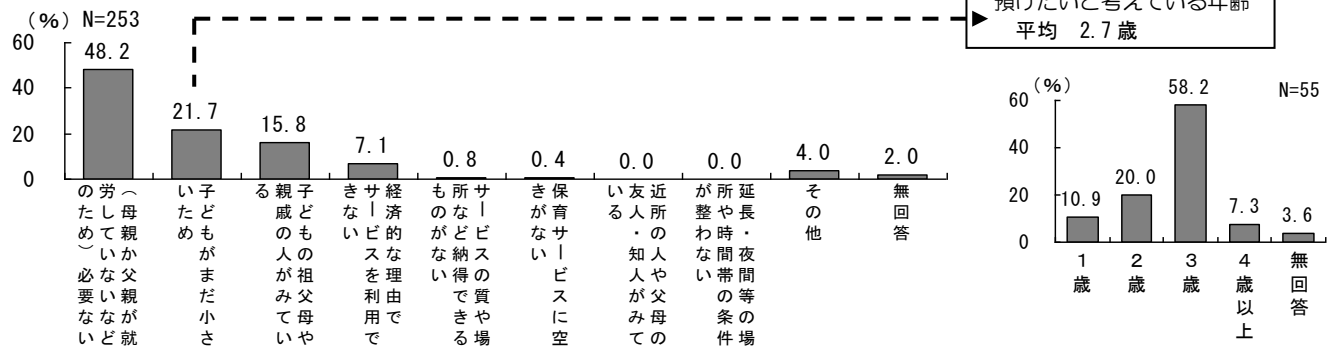
問10-1 利用している子育て支援サービス



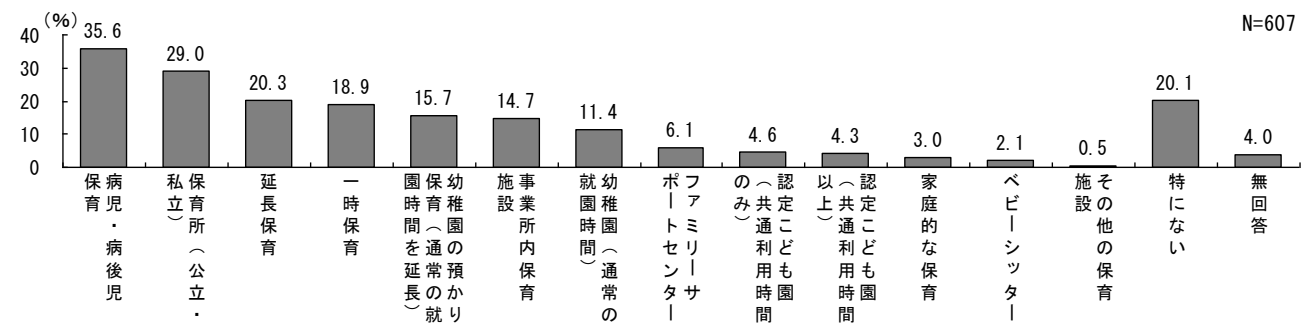
単位：％

	全体（人）	問10-2		問10-3 利用している理由							
		平均日数（週）	平均時間（日）	就労している	子供の教育のため	就労予定または求職中	家族等の介護の必要がある	持病や障害を持っている	学生である	その他	無回答
保育所（公立・私立）	254	5.0	7.9	79.5	3.9	9.4	1.2	0.8	0.4	4.3	0.4
幼稚園（通常の就園時間）	88	5.1	6.5	22.7	69.3	2.3	2.3	0.0	0.0	2.3	1.1
幼稚園の預かり保育	13	4.6	6.4	69.2	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設	4	5.0	8.8	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリーサポートセンター	4	5.3	8.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の保育施設	2	3.5	4.5	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
ベビーシッター	2	5.0	8.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
認定こども園（共通利用時間以上）	1	5.0	11.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家庭的な保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認定こども園（共通利用時間のみ）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 10-4 利用していない理由



問 11 利用希望がある、あるいは不足していると思うサービス

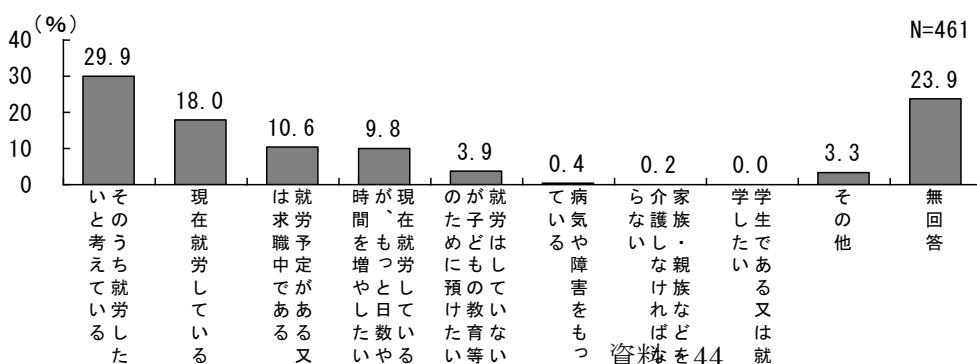


問 11-1 今後の利用希望

単位：%

	全体（人）	サービス選択した	1 週あたり日数					1 日当たり時間				
			3 日以下	4 日	5 日	6 日以上	無回答	3 時間未満	3 ～ 6 時間未満	6 ～ 8 時間未満	8 時間以上	無回答
全体	461	100.0	14.1	3.0	81.3	13.9	4.6	15.4	10.6	24.1	61.8	5.0
保育所（公立・私立）	160	34.7	0.6	0.6	83.8	13.8	1.3	0.0	0.6	32.5	65.6	1.3
事業所内保育施設	77	16.7	9.1	5.2	77.9	7.8	0.0	2.6	9.1	10.4	76.6	1.3
延長保育	77	16.7	14.3	2.6	62.3	11.7	9.1	42.9	7.8	1.3	40.3	7.8
幼稚園の預かり保育	74	16.1	21.6	4.1	66.2	6.8	1.4	43.2	20.3	5.4	27.0	4.1
幼稚園（通常の就園時間）	55	11.9	0.0	0.0	87.3	12.7	0.0	1.8	7.3	56.4	34.5	0.0
病児・病後児保育	22	4.8	31.8	4.5	27.3	13.6	22.7	0.0	4.5	4.5	77.3	13.6
家庭的な保育	16	3.5	43.8	6.3	43.8	6.3	0.0	12.5	18.8	31.3	37.5	0.0
認定こども園（共通利用時間のみ）	16	3.5	12.5	0.0	56.3	25.0	6.3	0.0	12.5	18.8	62.5	6.3
認定こども園（共通利用時間以上）	16	3.5	12.5	0.0	75.0	12.5	0.0	0.0	12.5	18.8	68.8	0.0
ベビーシッター	11	2.4	54.5	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	54.5	9.1	18.2	18.2
一時保育	9	2.0	55.6	0.0	0.0	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	33.3	33.3
ファミリーサポートセンター	3	0.7	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
その他の保育施設	2	0.4	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

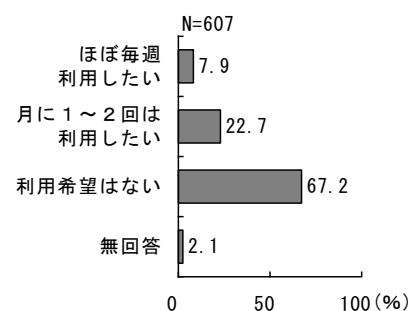
問 11-2 サービスを利用したい理由



問 12 土曜日、日曜日・祝日の保育サービス等の利用希望の有無

【土曜日】

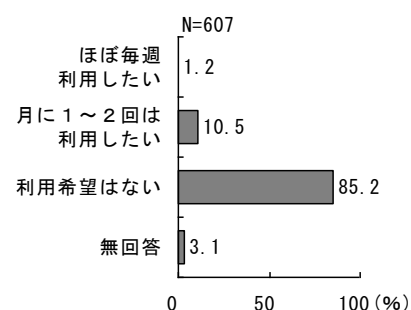
単位：％



【土曜日】	全体 (人)	利用開始の時間帯					利用終了の時間帯				
		午前6時以前	午前6時台	午前7時台	午前8時台	午前9時以降	午後4時以前	午後4時～5時台	午後6時～7時台	午後8時～9時台	午後10時以降
ほぼ毎週利用したい	48	0.0	2.1	4.2	58.3	35.4	16.7	50.0	31.3	2.1	0.0
月に1～2回利用したい	138	0.0	0.0	0.7	36.2	61.6	31.2	45.7	21.0	0.7	0.0

【日曜日・祝日】

単位：％



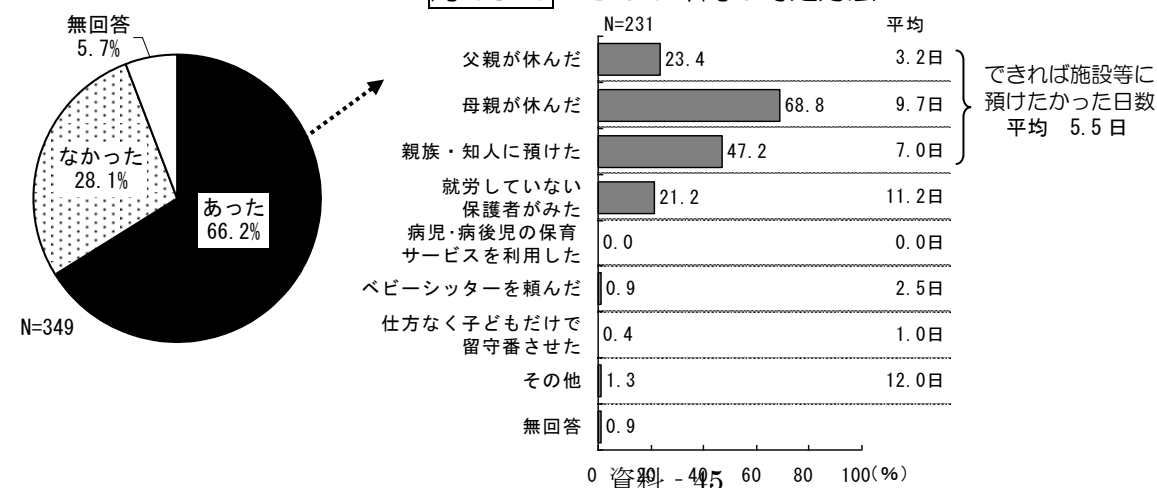
【日曜日・祝日】	全体 (人)	利用開始の時間帯					利用終了の時間帯				
		午前6時以前	午前6時台	午前7時台	午前8時台	午前9時以降	午後4時以前	午後4時～5時台	午後6時～7時台	午後8時～9時台	午後10時以降
ほぼ毎週利用したい	7	0.0	14.3	0.0	42.9	42.9	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0
月に1～2回利用したい	64	0.0	1.6	3.1	37.5	56.3	26.6	35.9	35.9	0.0	0.0

- ・ 保育サービスの利用者は57.5%であり、そのほとんどが保育所か幼稚園を利用している。
- ・ 利用していない人の中で、経済的な理由や空きがない理由の人は7.5%（19人）であった。
- ・ 利用希望がある、あるいは不足していると思うサービスは、「病児・病後児保育」35.6%、「保育所」29.0%、「延長保育」20.3%、「一時保育」18.9%などが多い回答であった。
- ・ 約3割が土曜日に保育サービスの利用希望があるとの回答であった。

4 病児・病後児の対応について

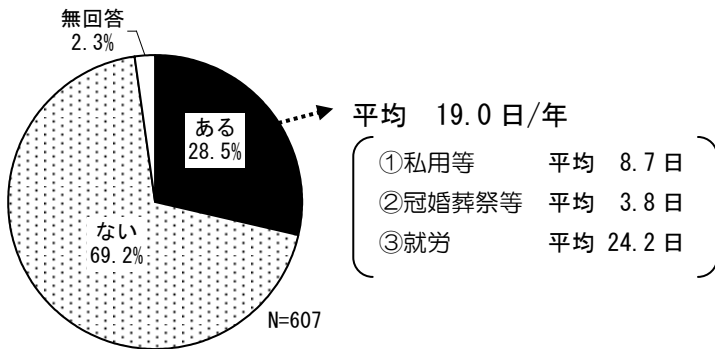
問 13 病気やけがで保育サービスが利用できなかったことがありますか

問 13-1 この1年間の対処方法

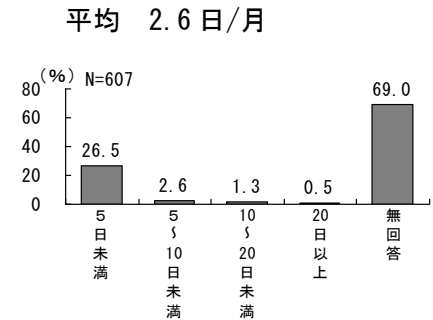


5 一時保育のことについて

問 14 私用や冠婚葬祭、就労等の目的で子どもを一時的に預けたことがありますか

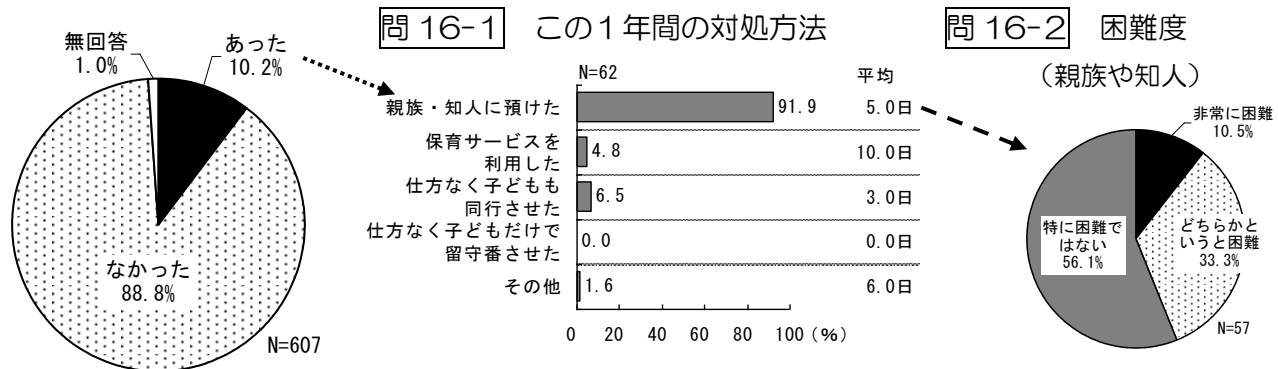


問 15 今後の一時保育の利用意向



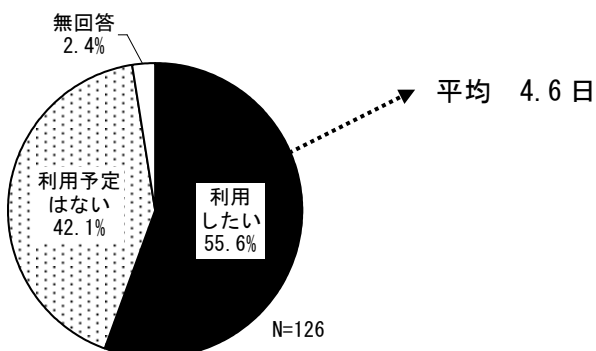
6 宿泊を伴う一時保育のことについて

問 16 保護者の用事などで、子どもを泊りがけで家族以外に預けたことがありますか



7 放課後児童クラブの利用について

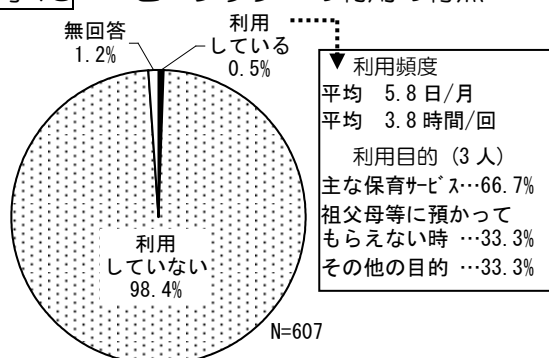
問 17 小学校入学以降、放課後児童クラブを利用したいと思いますか



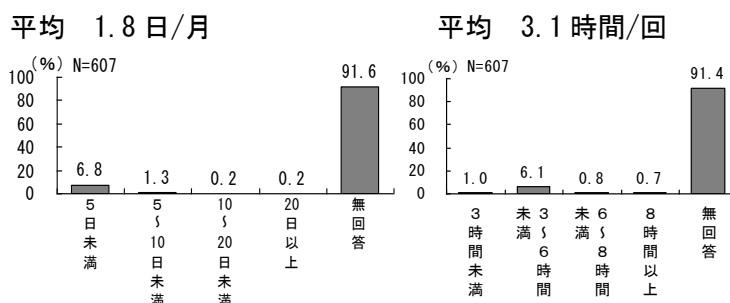
- ・病児・病後児を預けるサービスについては、年間で平均 6 日程度のニーズがみられる。
- ・一時保育についても約 3 割に今後の利用意向があり、1 月当たりの利用したい平均日数は 2.6 日であった。
- ・宿泊を伴う一時預かりについて、「親族・知人に預けた」ことがある人の内の 4 割強が「非常に困難」または「どちらかという困難」だったと回答している。
- ・放課後児童クラブについては、小学校入学後利用したいという人は 55.6% であり、その平均は 4.6 日であった。

8 ベビーシッターの利用について

問 18 ベビーシッターの利用の有無

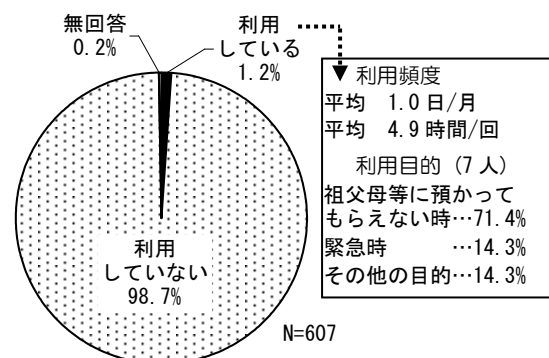


問 19 今後の利用希望日数、時間

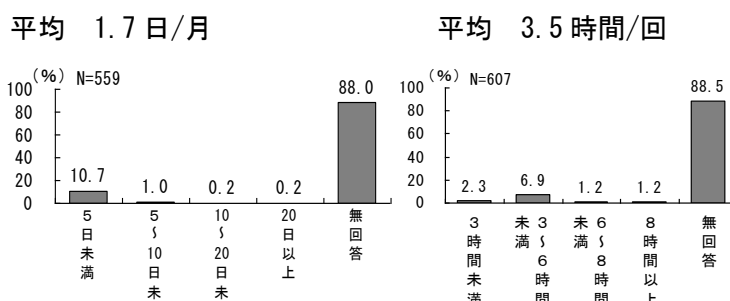


9 ファミリーサポートセンターの利用について

問 20 ファミリーサポートセンターの利用の有無

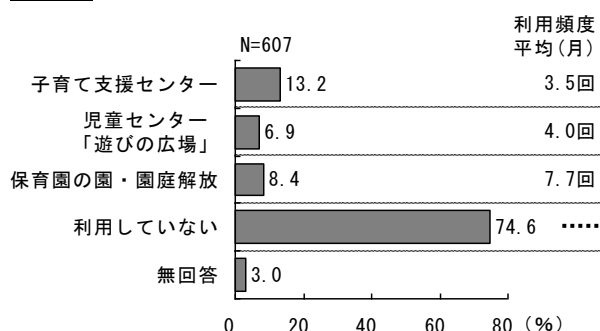


問 21 今後の利用希望日数、時間

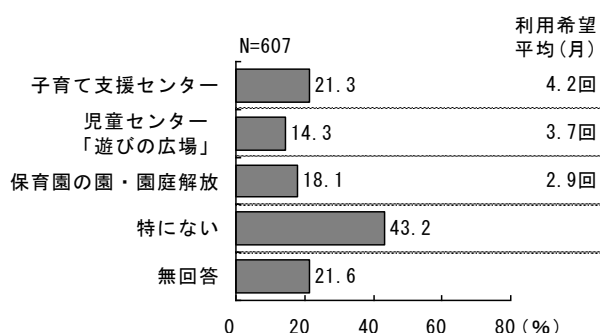


10 子育て支援サービスについて

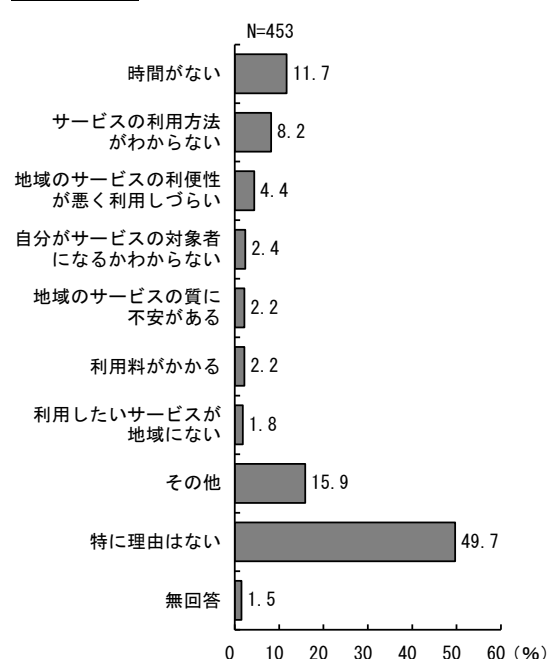
問 22 子育て支援サービスの利用の有無



問 23 今後の子育て支援サービスの利用意向



問 22-1 利用していない理由



- ・ベビーシッター、ファミリーサポートセンターについては、現在利用している人はごく少数となっている。しかし、大きな数値ではないものの、今後の利用ニーズはみられる。
- ・子育て支援サービスの利用については、約4人に3人が利用していないと回答しており、その内の11.7%が「時間がない」と回答している。
また、今後子育て支援センターを利用したいとの回答は21.3%、児童センター「遊びの広場」は14.3%、保育園の園・園庭解放は18.1%であった。

問24 事業の認知状況、利用状況、利用意向、利用しての評価について

単位：％

単位：%

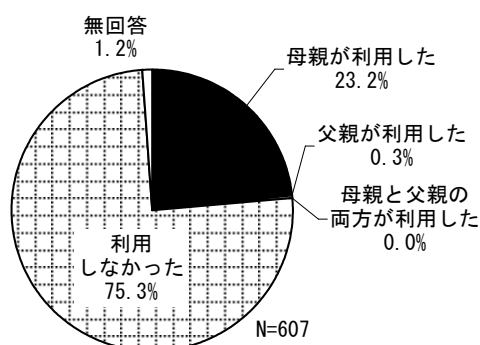
	(1) 認知度など					(2) 利用しての評価								
	全体 (人)	知っている	とがある 利用したこ	たい 今後利用し	無 回答	利用 者(人)	良い	ほ ぼ 良い	普通	やや 悪い	悪い	無 回答	得点 (平均)	
①マタニティセミナー	607	51.4	33.3	5.6	26.0	202	29.2	40.1	29.2	0.5	0.0	1.0	3.99	
②産後ケア事業	607	40.9	3.8	8.7	48.9	23	47.8	26.1	21.7	4.3	0.0	0.0	4.17	
③新生児訪問	607	44.2	72.0	5.9	10.2	437	47.8	25.9	21.3	1.8	1.4	1.8	4.19	
④保健センターでの健康診査、健康相談	607	39.4	83.7	13.7	7.1	508	37.0	25.6	28.1	4.5	2.4	2.4	3.93	
⑤もぐもぐ・かみかみ離乳食講座	607	46.5	66.1	9.7	9.4	401	38.7	30.4	25.7	2.7	0.2	2.2	4.07	
⑥子育て支援センター	607	49.3	49.1	12.4	15.5	298	31.2	36.6	24.2	5.0	1.7	1.3	3.92	
⑦児童センター	607	53.0	45.0	16.1	13.7	273	31.9	27.1	28.2	6.6	3.3	2.9	3.80	
⑧保育園の園・園庭開放	607	48.9	47.6	15.3	16.6	289	39.4	31.5	23.2	2.4	0.3	3.1	4.11	
⑨保健補導員会、地域公民館の子育て広場	607	31.3	19.8	12.0	49.9	120	35.0	35.0	27.5	0.0	1.7	0.8	4.03	
⑩市立図書館「お話の会」	607	45.0	17.5	19.4	34.3	106	39.6	26.4	25.5	4.7	0.9	2.8	4.02	
⑪ブックスタート事業	607	23.6	29.7	10.7	51.7	180	70.0	19.4	7.8	1.1	0.0	1.7	4.61	
⑫どきどきわくわく子育てガイドブック	607	36.4	29.5	7.4	41.8	179	32.4	38.5	24.0	1.1	0.0	3.9	4.06	
⑬町、保育園の子育てセミナー、子育て講座	607	31.0	17.8	13.8	49.1	108	27.8	37.0	29.6	2.8	0.0	2.8	3.92	
⑭市ホームページ「すざか子育てナビ」	607	16.1	3.3	14.8	68.4	20	15.0	40.0	40.0	5.0	0.0	0.0	3.65	
⑮保健センターの健康・子どもなんでも相談	607	34.3	5.1	11.7	53.2	31	41.9	29.0	16.1	3.2	3.2	6.5	4.10	
⑯家庭児童相談	607	34.9	1.8	10.4	55.7	11	36.4	36.4	18.2	9.1	0.0	0.0	4.00	
⑰教育相談	607	32.3	0.8	9.9	58.5	5	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	4.00	
⑱ファミリー・サポート・センター	607	42.8	1.5	11.7	47.9	9	55.6	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	4.22	
⑲保育園の一時保育	607	54.5	10.7	10.5	31.3	65	56.9	21.5	12.3	1.5	3.1	4.6	4.34	

<得点>良い：5点、ほぼ良い：4点、普通：3点、やや悪い：2点、悪い：1点、無回答：配点なし

- ・事業の認知度をみると、「市ホームページ『すざか子育てナビ』」が16.1%、「ブックスタート事業」23.6%、「町、保育園の子育てセミナー、子育て講座」が31.0%、「保健補導員会、地域公民館の子育て広場」が31.3%と低くなっている。
- ・各事業を利用したことがある人の評価をみると、どの事業も平均点の3点を上回っている。特に「ブックスタート事業」は4.61点で高い評価となっている。

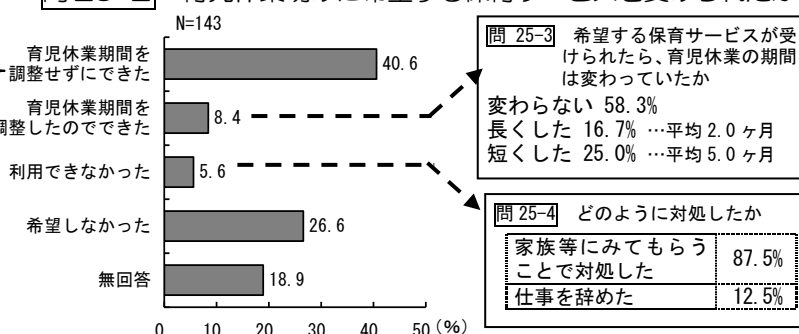
11 育児休業制度の利用について

問 25 育児休業制度の利用の有無



問 25-1 職場復帰した時の子どもの月齢：平均 13.3 ヶ月

問 25-2 育児休業明けに希望する保育サービスを受けられたか



問 25-3 希望する保育サービスが受けられたら、育児休業の期間は変わっていたか

変化	割合
変わらない	58.3%
長くした	16.7% …平均 2.0 ヶ月
短くした	25.0% …平均 5.0 ヶ月

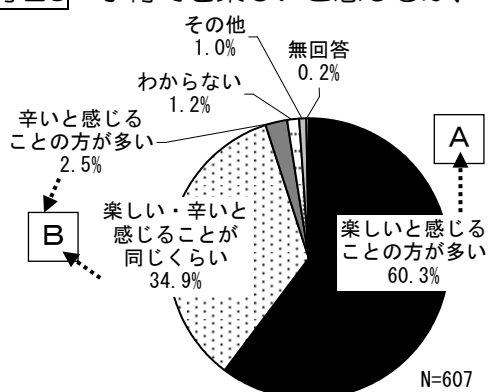
問 25-4 どのように対処したか

対処方法	割合
家族等にみてもらうことで対処した	87.5%
仕事を辞めた	12.5%

- ・ 育児休業制度は2割強が利用している。また、職場復帰した時の子どもの年齢の平均は13.3ヶ月であった。
- ・ 育児休業制度を利用した人のうち、休業明けに希望する保育サービスを受けられなかった人は5.6% (8人) であった。

12 子育てに関する一般的質問について

問 26 子育てを楽しんでいるか、辛いと感じますか



- ・ 子育てを「楽しいと感じることが多い」との回答は60.3%であった。
- ・ 順位1位の中の割合をみると、楽しいと感じている人では「仕事と家庭生活の充実」が26.4%で高くなっている。
- また、辛いと感じている人も「仕事と家庭生活の充実」が35.2%と高くなっている。

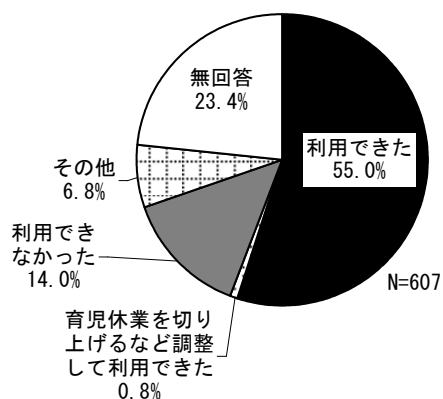
問 26-1 A：子育てをする中で有効と感じる支援・対策／B：子育ての辛さ解消に必要なこと

単位：％

	(上位3つまで選択)	全体 (人)	地域における子育て支援の充実	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実	妊娠・出産に対する支援	母親・乳児の健康に対する安心	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の充実	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	支援要保護児童に対する	その他	無回答
A 楽しい	上位3つの合計	366	36.6	41.0	14.8	16.1	26.8	19.7	18.3	38.5	50.0	17.8	3.3	3.3	3.6
	順位1位	322	14.9	12.1	4.0	3.1	11.2	5.9	3.1	12.1	26.4	4.7	0.6	1.9	0.0
	順位2位	322	11.8	17.7	4.7	5.9	9.6	9.0	8.1	11.2	13.7	5.6	1.2	0.6	0.9
	順位3位	322	11.2	13.7	7.1	8.1	7.8	4.7	7.5	17.4	11.8	6.5	1.2	0.9	2.2
B 辛い	上位3つの合計	227	40.5	31.3	17.6	14.1	14.1	16.7	17.6	38.3	53.3	15.9	5.7	7.5	6.6
	順位1位	193	15.0	9.8	4.7	2.6	5.2	6.2	2.6	8.8	35.2	4.1	2.6	3.1	0.0
	順位2位	193	14.5	12.4	2.1	4.1	6.2	7.8	7.3	20.2	14.5	5.7	0.5	2.1	2.6
	順位3位	193	16.1	12.4	13.5	7.8	4.7	4.7	8.8	9.8	8.3	4.7	3.1	1.6	4.7

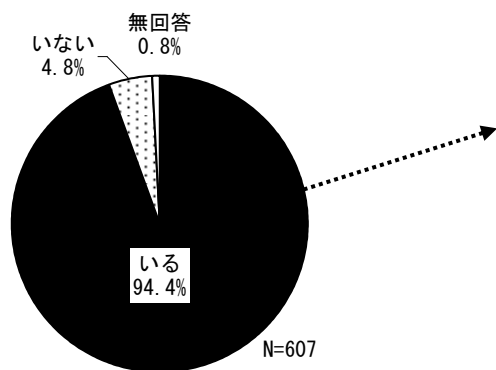
※「上位3つの合計」には順位不明の回答者分も含むため、順位1～3の合計とは一致しない

問 27 希望した時期に希望した保育サービスを利用することができましたか

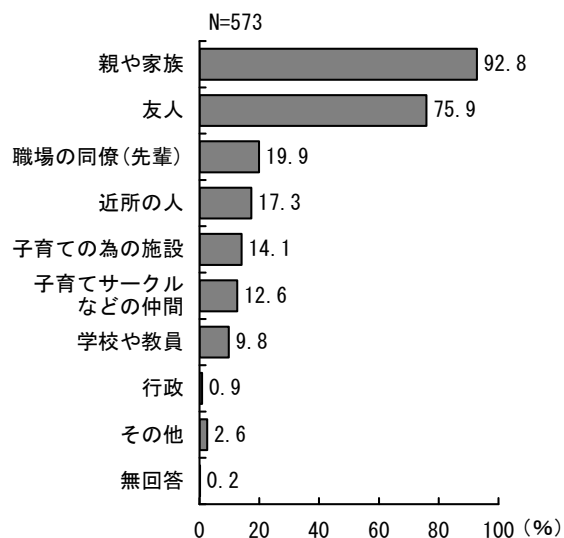


- ・希望した時期に希望した保育サービスを「利用できた」との回答は55.0%であった。
- ・相談できる人がいないとの回答は4.8%であった。
また、相談相手は「親や家族」・「友人」等、身近な人を回答している人が多い。
- ・生活の中の時間について、希望では「プライベートを優先」したい人が20.4%いたが、現実で優先できているのは1.3%であった。

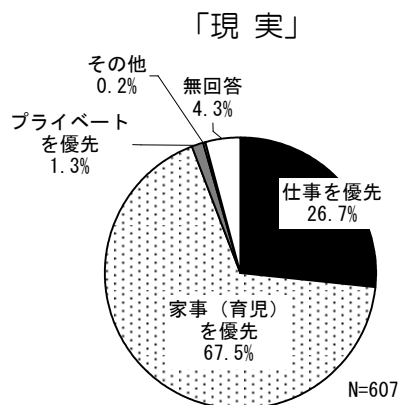
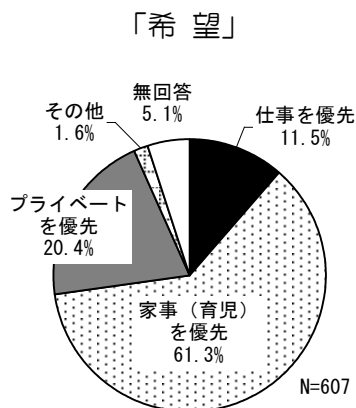
問 28 子育てについて相談できる人の有無



問 28-1 相談相手



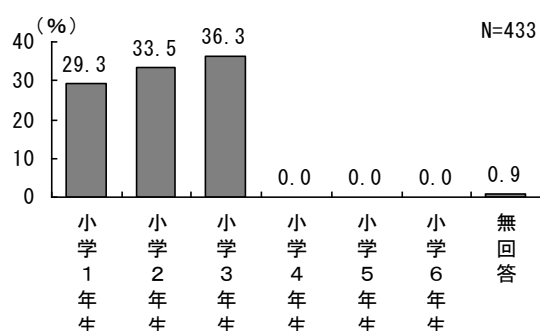
問 29 生活の中での時間の優先度の「希望」と「現実」



Ⅲ 小学生児童調査結果

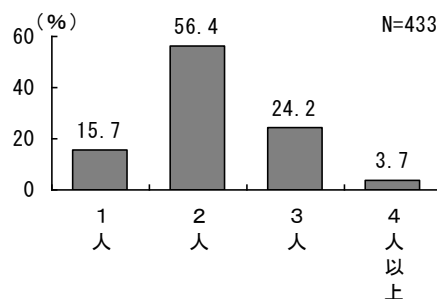
1 児童と家族の状況について

問1 子どもの年齢

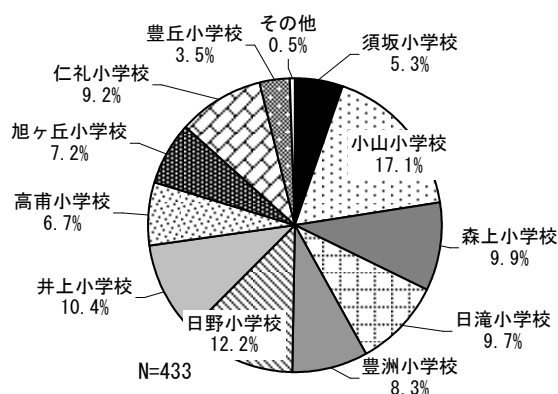


問2 子どもの人数、末子の年齢

子どもの人数：平均 2.2 人 末子の年齢：平均 5.7 歳



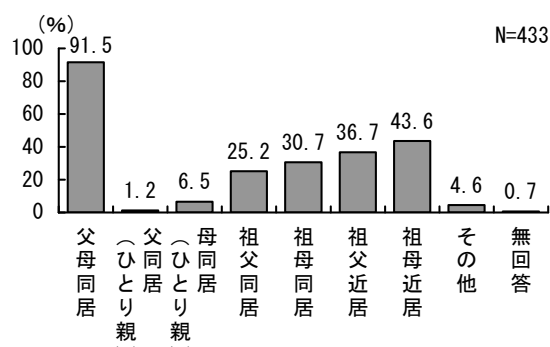
問3 居住地区（通学区）



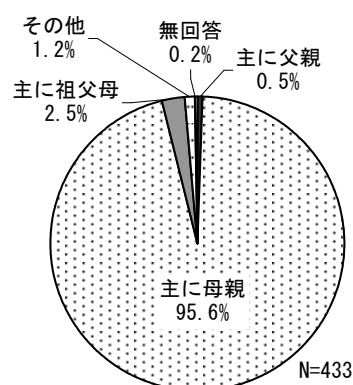
・子どもの人数は平均で2.2人であり、末子の年齢の平均は5.7歳であった。

・子どもを預かってもらえる状況では「いずれも預かってもらえない」人が5.5%であった。また、預かってもらえている人でも、心理的に心苦しい人が、祖父母で約4人に1人、友人・知人で約4割とうかがえる。

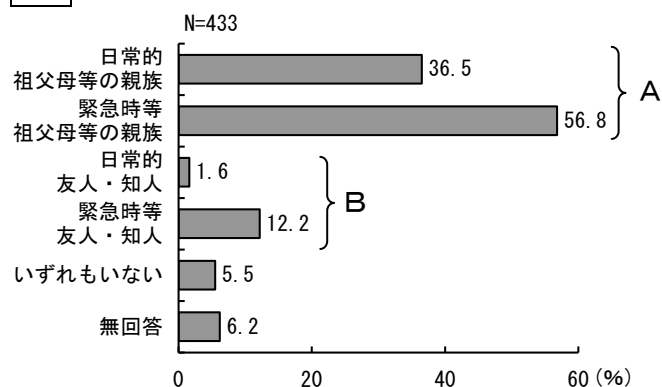
問4 同居・近居の状況



問5 主な身の回りの世話



問6 子どもを預かってもらえる人

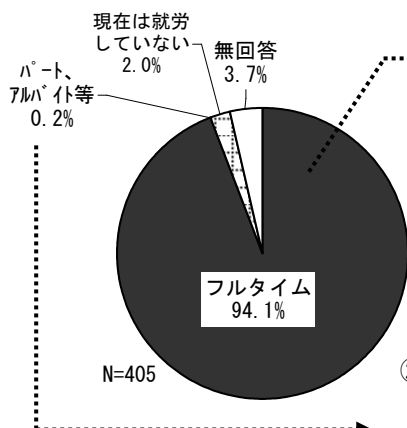


問6-1・問6-2 預かってもらっている状況

	全体（人）	特に問題はない	心身配である	身体的負担が大きくある	時間的制約や精神的負担が大きい	保護者の立場として、負担をかけることが心苦しい	その他
A	368	73.4	12.8	17.1	24.5	3.0	
B	55	60.0	1.8	18.2	38.2	3.6	

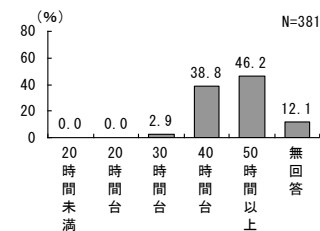
2 児童の親の就労状況について

問7(1) 父親

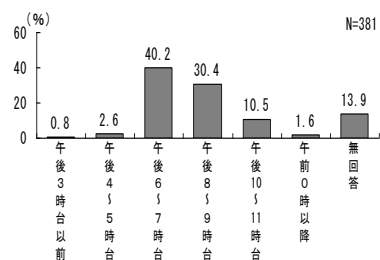


①フルタイム

1週当たりの平均就労時間



平均的な帰宅時間

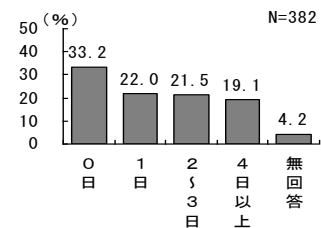


②パート、アルバイト

1人(1週当たりの平均就労日数: 5.0日、
1日当たりの平均就労時間: 8.0時間、
フルタイムへの転換希望:
希望はあるが予定はない 100%)

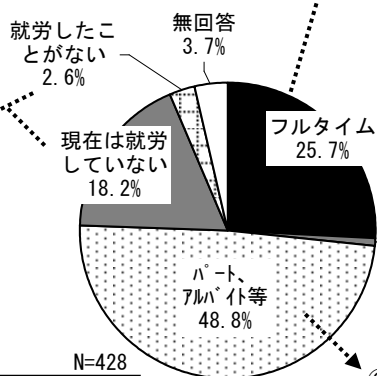
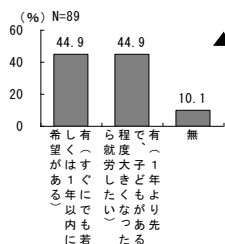
問7(1)-1 就労している父親

日曜・祝日の1月当たりの平均勤務日数



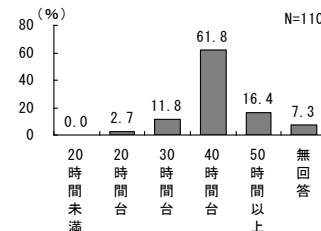
問7(2) 母親

問8 就労希望

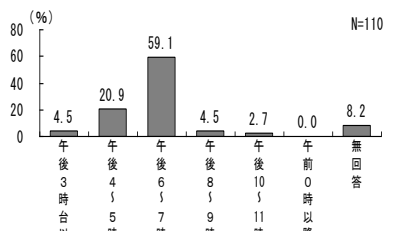


①フルタイム

1週当たりの平均就労時間

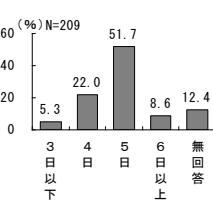


平均的な帰宅時間

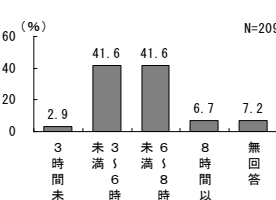


②パート、アルバイト

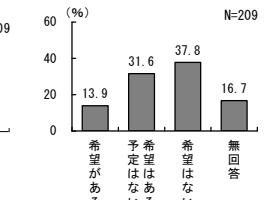
1週当たりの就労日数



1日当たりの就労時間



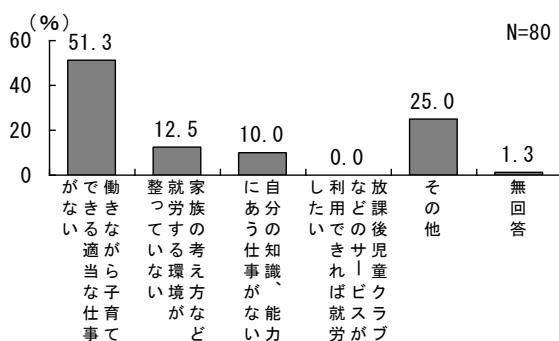
フルタイムへの転換希望



希望の就労形態
フルタイム: 2.5%
パート・アルバイト: 97.5%
(平均4.1日/週、5.0時間/日)
就労希望時の子どもの年齢
平均: 7.2歳

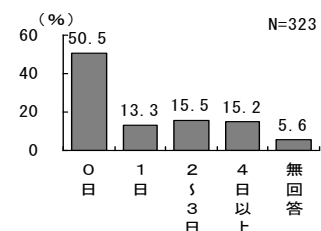
希望の就労形態
フルタイム: 17.5%
パート・アルバイト: 80.0%
(平均4.3日/週、5.1時間/日)

問8-2 就労希望がありながら、働いていない理由



問7(2)-1 就労している母親

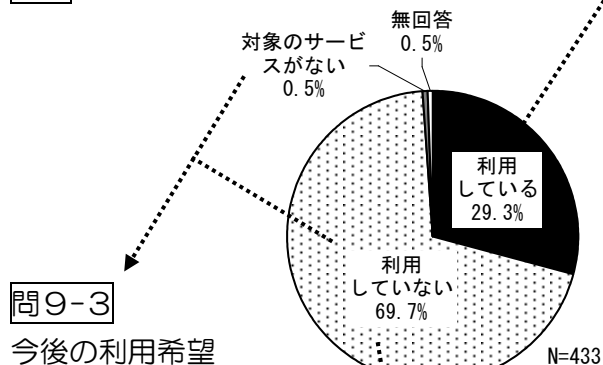
日曜・祝日の1月当たりの平均勤務日数



- ・母親の就労状況をみると、フルタイムが25.7%、パート・アルバイトが約半数であった。就学前児童の母親と比べると、就労している割合が高い。
- ・現在就労していない母親の内、子どもがある程度大きくなったら就労したい人が、希望の就労形態について「パート・アルバイト」と回答したのは97.5%であった。

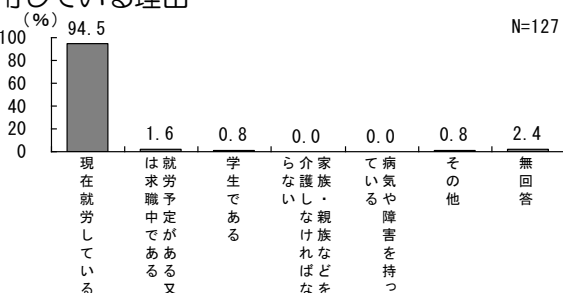
3 放課後児童クラブの利用について

問9 放課後児童クラブ利用の有無



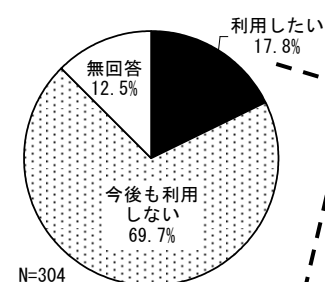
問9-1

利用頻度：平均4.5日/週
 土日の利用：ある3.1%、なし93.7%
 利用している理由

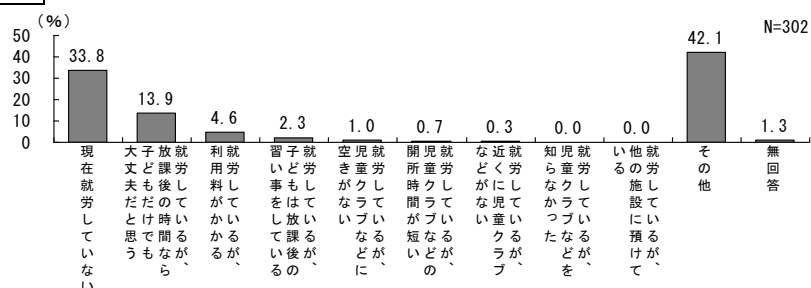


問9-3

今後の利用希望



問9-2 利用していない理由

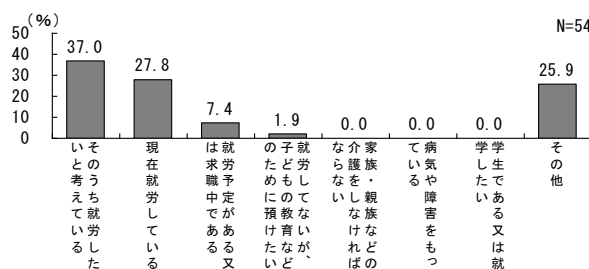


利用希望：平均4.1日/週

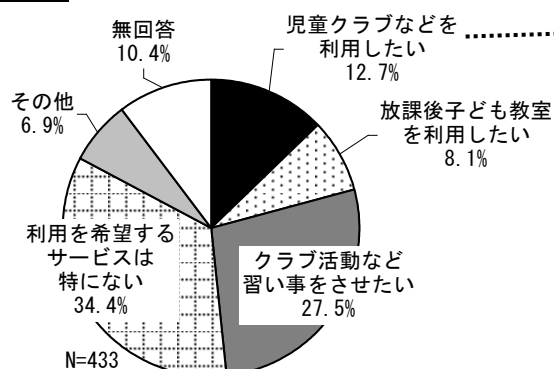
土日の利用希望：ある25.9%、ない35.2%

問9-4

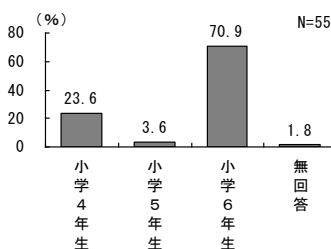
今後利用したい理由



問10 小学4年生以降の放課後の過ごし方の希望



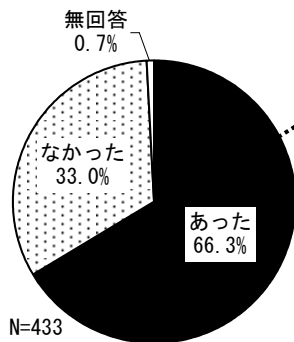
利用したい学年



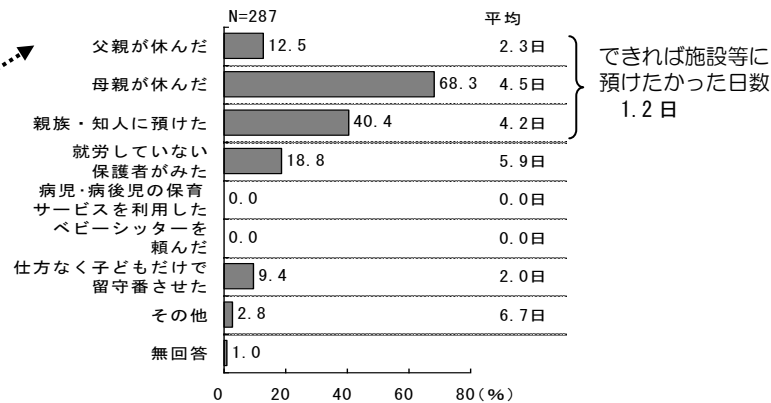
- ・放課後児童クラブを利用しているのは29.3%であった。
- ・利用していない人の中で、今後の利用意向があるのは17.8%であった。
また、小学4年生以降も「児童クラブなどを利用したい」との回答は12.7%あり、その内、「小学6年生」まで利用したいとの回答が約7割を占めている。

4 病児・病後児の対応について

問 11 病気やけがで学校を休んだことがありますか

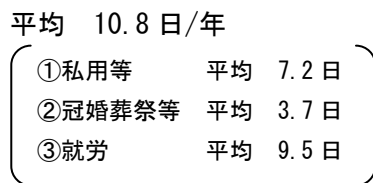
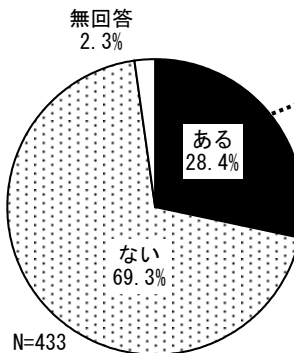


問 11-1 この1年間の対処方法

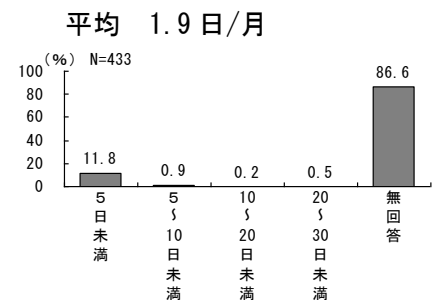


5 一時預かりのことについて

問 12 私用や冠婚葬祭、就労等の目的で子どもを一時的に預けたことがありますか

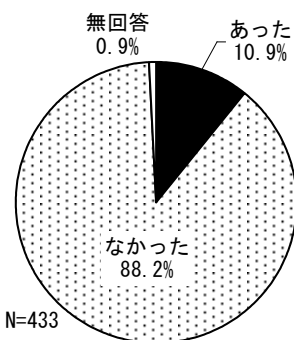


問 13 今後の一時保育・預かりサービスの利用意向

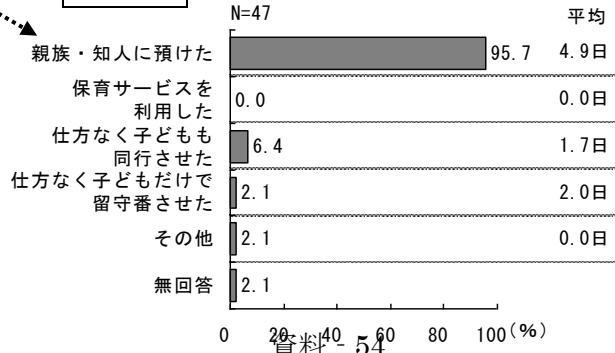


6 宿泊を伴う一時預かりのことについて

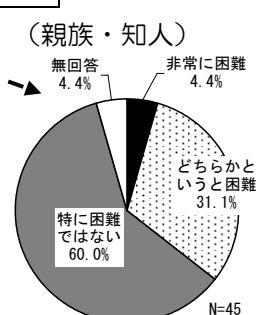
問 14 保護者の用事などで、子どもを泊りがけで家族以外に預けたことがありますか



問 14-1 この1年間の対処方法

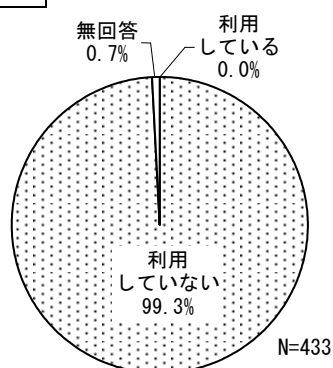


問 14-2 困難度



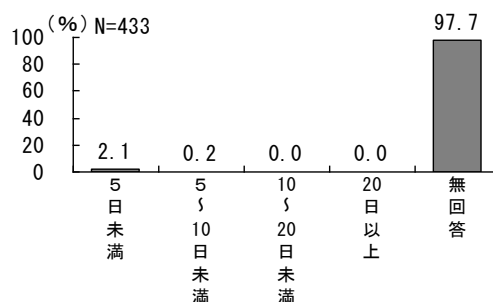
7 ベビーシッターの利用について

問 15 ベビーシッターの利用の有無



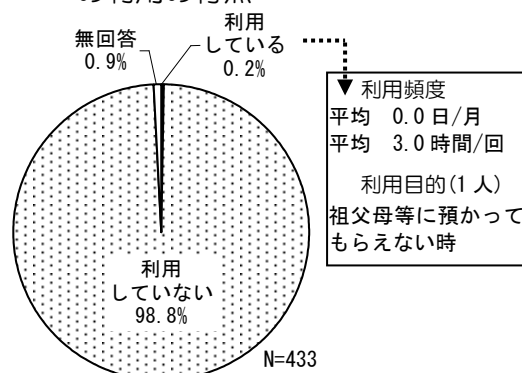
問 16 今後の利用希望日数

平均 0.6 日/月



8 ファミリーサポートセンターの利用について

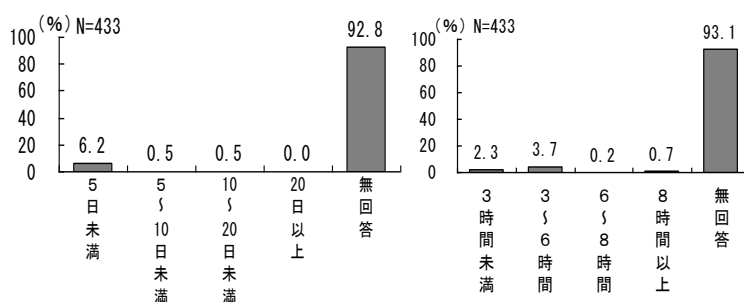
問 17 ファミリーサポートセンターの利用の有無



問 18 今後の利用希望日数、時間

平均 1.4 日/月

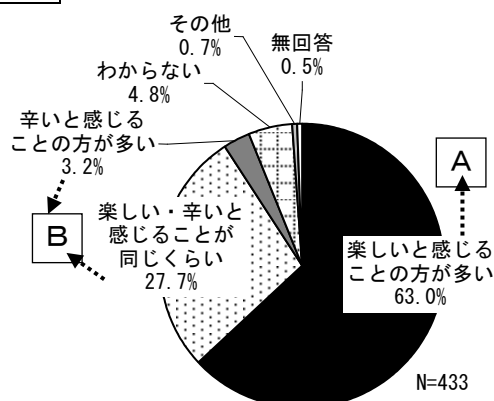
平均 2.9 時間/回



- ・病児・病後児を預けるサービスについては、施設等に預けたかったとする日数は少ないものの、「仕方なく子どもだけで留守番させた」ことがある割合が 9.4%であった。
 - ・宿泊を伴う一時預かりについて、「親族・知人に預けた」ことがある人の内の約 3 人に 1 人が「非常に困難」または「どちらかという困難」だったと回答している。
 - ・ベビーシッターを利用しているとの回答はなく、ファミリーサポートセンターも、利用者はわずかであった。
- 今後の利用希望については、大きな数値ではないが利用ニーズはみられる。

9 子育てについての一般的質問について

問 19 子育てを楽しんでいるか、辛いと感じますか



- ・子育てを「楽しいと感じることの方が多い」との回答は 63.0%であった。
- ・順位 1 位の中の割合をみると、楽しいと感じている人では「仕事と家庭生活の充実」が 28.3%で高くなっている。
- また、辛いと感じている人も「仕事と家庭生活の充実」が 32.5%と高くなっている。

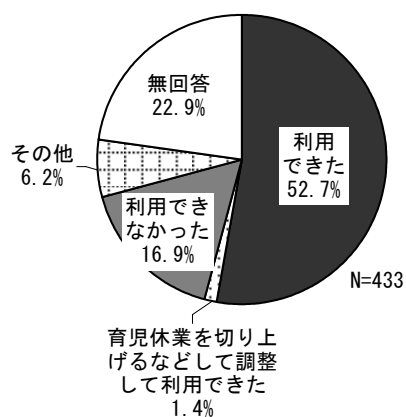
問 19-1 A：子育てをする中で有効と感じる支援・対策／B：子育ての辛さ解消に必要なこと

単位：％

	(上位3つまで選択)	全体(人)	地域における子育て支援の充実	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実	妊娠・出産に対する支援	母親・乳児の健康に対する安心	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の充実	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	要保護児童に対する支援	その他	無回答
A 楽しい	上位3つの合計	273	35.9	20.1	8.1	27.1	18.7	7.3	35.5	38.5	53.8	40.3	2.6	1.5	2.2
	順位1位	219	12.3	5.5	1.8	5.0	5.5	1.4	8.2	13.7	28.3	17.8	0.0	0.5	0.0
	順位2位	219	13.7	6.8	2.3	10.0	4.6	3.7	15.5	13.2	17.4	10.5	0.9	0.5	0.9
	順位3位	219	11.0	8.2	5.0	13.7	6.8	1.8	12.8	14.2	8.2	13.7	1.4	0.5	2.7
B 辛い	上位3つの合計	134	35.8	20.9	10.4	30.6	9.0	7.5	29.1	30.6	61.2	29.9	4.5	7.5	4.5
	順位1位	114	15.8	3.5	1.8	6.1	4.4	1.8	9.6	7.0	32.5	7.0	2.6	7.9	0.0
	順位2位	114	12.3	7.0	0.9	16.7	1.8	4.4	8.8	9.6	20.2	13.2	0.9	0.0	4.4
	順位3位	114	10.5	12.3	7.0	11.4	3.5	0.9	12.3	14.9	13.2	7.0	1.8	0.9	4.4

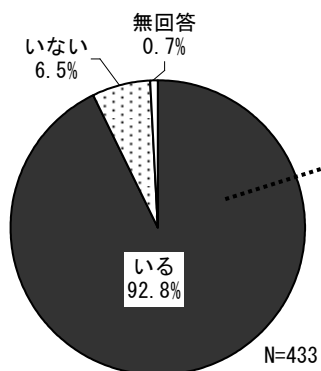
※「上位3つの合計」には順位不明の回答者分も含むため、順位1～3の合計とは一致しない

問 20 希望した時期に希望した保育サービスを利用することができましたか

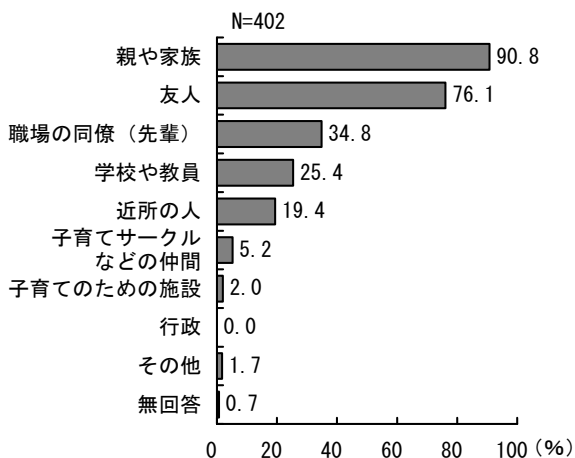


- ・希望した時期に希望した保育サービスを利用することができたのは52.7%であった。
- ・相談できる人がいないとの回答は6.5%であった。また、相談相手は「親や家族」・「友人」等、身近な人を回答している人が多い。
- ・生活の中の時間について、希望では「プライベートを優先」したい人が17.8%いたが、現実で優先できているのは0.7%であった。

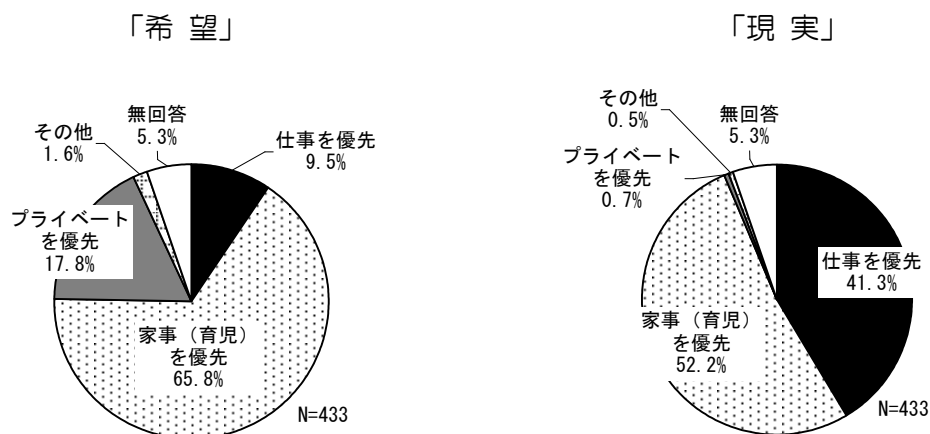
問 21 子育てについて相談できる人の有無



問 21-1 相談相手



問 22 生活の中での時間の優先度の「希望」と「現実」



問 23 利用したことのある事業の評価

単位：％

	全体 (人)	良い	ほぼ 良い	普通	やや 悪い	悪い	無 回 答	得 点 (平 均)
①マタニティセミナー	433	10.2	10.9	20.6	0.9	0.5	57.0	3.68
②産後ケア事業	433	2.8	3.2	10.6	2.8	0.9	79.7	3.20
③新生児訪問	433	18.5	15.0	28.6	2.8	1.8	33.3	3.68
④保健センターでの健康診査、健康相談	433	19.4	22.6	31.2	6.2	3.7	16.9	3.58
⑤もぐもぐ・かみかみ離乳食講座	433	14.1	15.9	25.6	2.8	1.4	40.2	3.64
⑥子育て支援センター	433	7.6	11.3	11.8	1.8	0.9	66.5	3.68
⑦児童センター	433	13.4	16.9	18.0	2.5	2.1	47.1	3.70
⑧保育園の園・園庭開放	433	21.5	15.7	12.5	2.1	0.9	47.3	4.04
⑨保健指導員会、地域公民館の子育て広場	433	4.2	4.6	11.3	2.3	0.7	76.9	3.40
⑩市立図書館「お話の会」	433	8.8	8.1	9.7	0.9	0.2	72.3	3.88
⑪ブックスタート事業	433	12.7	3.2	6.9	0.5	0.9	75.8	4.09
⑫どきどきわくわく子育てガイドブック	433	5.1	4.8	11.3	1.2	0.5	77.1	3.57
⑬町、保育園の子育てセミナー、子育て講座	433	5.3	10.9	17.3	2.1	0.7	63.7	3.50
⑭市ホームページ「すざか子育てナビ」	433	1.2	0.9	6.7	0.2	0.7	90.3	3.17
⑮保健センターの健康・子どもなんでも相談	433	1.2	1.6	5.3	1.2	0.9	89.8	3.09
⑯家庭児童相談	433	1.2	1.6	5.1	0.5	0.9	90.8	3.18
⑰教育相談	433	0.5	1.6	4.8	0.2	1.4	91.5	2.95
⑱ファミリー・サポート・センター	433	0.9	1.2	4.8	0.5	0.5	92.1	3.21
⑲保育園の一時保育	433	8.5	4.8	5.5	1.2	0.9	79.0	3.90

<得点>良い：5点、ほぼ良い：4点、普通：3点、やや悪い：2点、悪い：1点、無回答：配点なし

・利用したことがある各事業の評価をみると、ほとんどの事業で平均点の3点を上回っているものの、「教育相談」が2.95点、「保健センターの健康・子どもなんでも相談」が3.09点でやや低くなっている。

・「教育相談」や「家庭児童相談」、「市ホームページ『すざか子育てナビ』」などは無回答の割合が高く、また就学前児童での認知度も低いため、利用以前に認知度が低い可能性がある。

Ⅳ 自由意見

1 就学前児童

問30 子どもを産み・育てやすい、子ども達がのびのびと安心して住めるまちづくりを進めていくための提案・要望

<母子保健医療体制の充実>

福祉医療費受給の延長（25人）

- 受給年齢を中学生まで延ばしてほしい
- 受給年齢を小学校卒業まで延ばしてほしい
- 医療費補助の年齢を上げてほしい。アトピー・喘息など長期にわたるものは負担が大きい

病院（小児科、産婦人科等）の充実、時間延長、スムーズな対応（25人）

- 産婦人科、産前後ケアの充実
- 出産できる病院が限られていて、選択の余地がない
- 小児科の充実
- 緊急医療の充実

保健センターのサービスの充実、育児教室を増やしてほしい（16人）

- 転入者が地域・グループになじみやすくする配慮をしてほしい
- 健診の時間を午前にしてほしい（午後は昼寝の時間）
- 講座やセミナーを多く開催してほしい
- 有料でも良いので、2歳児まで歯にフッ素を塗る取り組みをしてほしい
- 子どもなんでも相談の日数を増やしてほしい

医療費の負担軽減（11人）

- 医療費の窓口での一時負担を無くしてほしい
- インフルエンザの予防接種の負担を軽減してほしい
- 医療費を無料にしてほしい

障害者支援の充実（3人）

- 保育園での障害児に先生が1人付くのはとても良いので、これからも続けてほしい
- 保育園の障害児に対して、母親の就労を条件からはずしてほしい

<保育園・幼稚園の多機能化>

保育園の充実（56人）

- 通常保育時間を長くしてほしい、日曜・祝日も保育園を開いてほしい
- 保育士を増やしてほしい
- 保育園でも送迎サービスをしてほしい
- 保育園に預けてから職探しができるようになると助かる
- 南保育園を続けてほしい
- 保育園の園開放は、なかなか活用されていなくて残念に思う

病児保育の充実（29人）

- 病児・病後児保育を充実してほしい
- 子どもが病気でも中々仕事は休めないなので、病児・病後児保育が必要
- 病児・病後児でも保育園に預けることができるようにしてほしい
- 土日関係なく病気の子どもを預かってもらいたい

保育園の延長保育・一時保育等の充実（24人）

- 延長保育の時間を延長してほしい
- 事前の予約が必要だったりして、一時保育が使いにくい
- 一時保育のできる保育園を増やしてほしい
- 一時保育等の使用料が高く、気軽に利用できない
- 延長保育を無料にしてほしい

子育て支援センターの設備、サービスの充実（21人）

- 初めて利用する人が行きやすいような職員の方の配慮が欲しい。（すでに輪ができていたり、職員と世間話している方がいると、初めて利用する人は行きにくい）
- 駐車場をもっと広くしてほしい
- 児童館と同じ建物だが、0歳児と小学生が同じ場所で遊べるわけがない

○ 建物自体が古く、設備が行き届いていない

○ 日曜日にも利用したい

ファミリーサポートなどの一時預かり保育の充実（12 人）

○ ファミリーサポートセンターは気軽に利用できない

○ ファミリーサポートセンターの充実

○ ファミリーサポートセンターで病気の時も預かってほしい

幼稚園の充実（8 人）

○ 幼稚園は夏休みや春休みが長く、働くうえで難しい

○ 送迎サービスのある幼稚園は、帰宅時間が早すぎる

○ 利用できる保育園や幼稚園を一覧できるサービスがほしい（時間帯・料金・特徴など）

学区の整備（4 人）

○ 現在の学区の小学校よりも、違う学区の方が近いので、選べるようにしてほしい

○ 通学区域の見直し

土日や長期休みの時に預けるところがない（3 人）

○ 土・日・祝日の一時保育や児童クラブ等を充実してほしい

○ 近くの児童センターは夏休み等長期の休みに利用できないので、中央センター以外でも夏休みに利用できる環境があると良い

アレルギーの子供への支援（2 人）

○ 食物アレルギーの子供への配慮が欠けているように思う。学校、幼稚園、保育園等の給食、安心して外食できる所がないに等しい

○ 小学校でもアレルギー代替給食を実施してほしい

<放課後児童健全育成事業の充実>

児童センター・クラブの充実（25 人）

○ 児童クラブの充実（施設、内容）

○ 利用時間を 19 時までにしてほしい

○ 学校の放課後時間利用の異年齢交流（小・中・高・地域）

○ 保育園でも小学生の学童保育を行ってほしい

<遊び場や交流の場の整備>

安全な公園や遊び場等を増やしてほしい（91 人）

○ もっと公園を増やしてほしい

○ 家の近くに公園がないので作ってほしい

○ 駐車スペースがなく行きづらい

○ 子どもたちがボール遊びなどもできる広場をつくってほしい

○ 車で小布施のハイウェイオアシス等に行っているが、市内にも広い公園がほしい

○ 外で遊べる場所が学校しかない

公園の管理、設備の充実（69 人）

○ 遊具が少なすぎるので増やしてほしい（撤去されても、新しいものが設置されない）

○ 公園の整備がきちんとされていないので、定期的に管理してほしい

○ 公園に遊具がひとつもないので、すべり台やブランコがあるといい

○ 緑地公園にトイレを設置してほしい

○ 休憩のための日陰を作してほしい

公園、公共施設の駐車場やトイレ等の改善（17 人）

○ 子育て支援センターの駐車場が狭く、とめられない時がある

○ 公園に駐車スペースがなく、行きづらい

○ 図書館を利用したいが、駐車場が狭い

○ 公園やスーパー、市の施設のトイレにもおむつ台や子供用など設置してほしい

地域やお年寄りとの交流（7 人）

○ 地域（地区）で公会堂等をもっと開放して、子ども、親子や地域の方との交流をもっとしてもいいのではないかな

○ 住んでいる地区は農家も多く、祖父母とも同居しているため、近所の方との繋がりもあり、声を掛けてもらえるので、とても助かっている

○ 親を含めて地域の方々との人間関係をしっかり築く

○ 地域で地区の見回りをするなど、子ども達を皆で守り育てていくような温かい町になるといい

＜安全で快適な生活環境の整備＞

安心して子どもを育てられる環境の整備（38人）

- 育児の相談をしやすい場所がもっとほしい
- 新生児訪問の時に育児についていろいろ相談でき、とても安心した
- 子供を安心して育てるための環境が整っていないと、子育て世代の家族が須坂市に住むのは難しいのではないかな
- 今後母親が勤めたり、祖父母が介護状態になったらと思うと心配で仕方ない。各機関との連携を密にしていってほしい
- 他課との連携、情報の共有、必要なシステム作り、広い視野で充実させていってほしい
- 理想は母親がゆっくりと子供と話したり、遊んだり、学んで、子供のちょっとした変化やサインを見逃さず、のびのびと生活をさせること

道路整備や歩道確保、通学路の安全（36人）

- 歩道が狭かったり、段差がひどくベビーカーでとても歩きにくい
- グレーチングの幅が大きく、ベビーカーの車輪がはまり危険
- 通学路の整備、安全性の向上、農道が多いと心配
- 街灯を整備してほしい（少し山に入ると極端に少なくなる）
- 通学路のスピード制限の見直し
- 横断歩道が少ない、歩行者用の信号が少ない
- 小さな川に網や蓋などをしてほしい、子どもが落ちないか心配
- 交通の便を良くしてほしい

子供連れでも外出しやすい環境づくり（18人）

- 妊婦や小さい子連れでの行動は大変なので、トイレや駐車場・座席など配慮してほしい
- 親も子も一緒に楽しめる公園や喫茶店、レストランの充実、気軽に行ける店があると良い
- 公共施設等のトイレに子ども用シートのある個室が少なく、困ることがある
- 母親が息抜きできる場所がもっとあると良い

不審者対策などの治安維持（17人）

- パトロールの強化
- 小さい子がいると講演等も中々聞きにいけないので、冊子等を配布してもらえるとうれしい
- 子どもたちが事件や事故に巻き込まれることも多いので心配
- 不審者情報等がメールなどですぐに分かるようになると良い
- 警察にも園や学校周辺を見回ってほしい

商業施設（大型スーパー、デパート等）や割引カード等を作ってほしい（12人）

- 須坂市でも、“子育て支援カード”のような、加盟店を利用すると割引などのサービスが受けられるものがほしい
- 総合的な大きなスーパーが市内にないが、あるととても助かる
- 安心して一ヶ所で買物でき、気分転換もできる所があると良い

＜人材の育成と確保＞

子育てに関わる人材の育成や養成が必要（13人）

- 子どもを預ける施設は人員をしっかり選出してほしい
- 相談してもきちんとした回答が返ってこないで、もっと勉強してほしい
- 保健センターでの健診時、子どもがグズったりした時の職員などの目線がとても冷たく感じる
- 数人の職員の態度や言動が保健センターに対する印象を悪くしている

＜親と子の学習機会の充実＞

イベントや行事を増やしてほしい（21人）

- 仕事をしているので、土日にセミナー等を開いてほしい
- 子どもが参加できるイベントをしてほしい
- 子どものためのワークショップがあるといい
- 地区別で小さな頃から会える様な集まりなどが定期的にあると良い

母親同士、親子同士での交流（15人）

- 些細なことを話したり、情報交換ができる母親同士の集まる場を作ってほしい
- 子どもが小さい時は母と子の二人の世界になりがちなので、児童センター等が仲間づくりのできやすい場所として機能してくれると嬉しい

- 母と子が安心して一緒に過ごせる時間をしっかり確保することも大切だと思う
- 子を持つ親のネットワークが広がれば良い

<情報提供と相談体制の充実>

子育て支援について分かりやすくアピールしてほしい (19 人)

- 自分たちがどのサポート等を受けられるのか分かりづらいので、改善してほしい
- 出生届提出時や転入時に子育て支援ブックなどを配布してほしい。市報だけでは不足
- インターネットを見られない環境の人にも情報が伝わるように工夫してほしい
- 転入してきて、子育て支援サービスの内容がよく分からない
- 子育てサークルや集まりの情報を広報誌や町の案内等に多く載せてほしい

<子育てと就労の両立支援>

子供がいても安心して働ける職場環境の整備 (38 人)

- 子育て中の母親が、育児を優先して働ける環境を整えてほしい
- 働きたくても小さな子どものいる環境では働けない
- 企業や職場等でも、次世代の子供の教育や保護に対してもっと理解がほしい
- 仕事場に保育施設をつくってほしい
- 子供の行事(学校等)で仕事を休むことが多くて、仕事がしづらい。もう少し学校へ行く事を減らしてほしい
- 今は育休中だが、仕事がフルタイムで夜までかかることも多く、復帰後の子供が心配
- 子供を産んだ後も安心して働くことができる職場が増えることを望む
- 仕事との両立の大変さはとても感じているが、預ける場所、環境が充実すればとはあまり思わず、どちらかという働き方について考えてしまう

男性の育児参加 (9 人)

- 父親は自分の子どもだという意識が少ないのではないか。母親だけが苦勞している
- 父親がもっと育児に参加、協力出来るような社会環境と男性の意識改革を望む
- 男性も育児休を取るのが当たり前になってほしい
- 父親が仕事に忙しく、母や祖母のストレスがたまる。子どもが小さいうちは早めに帰宅させるなど配慮がほしい

産休や育休を取りやすい環境の整備、制度の充実 (9 人)

- 育児休業制度の充実
- 育児休業を義務化すれば、共働き家庭でも仕事と家事、育児の両立がしやすくなるのでは
- 臨時や派遣社員等は育休制度の利用対象にはならないので、なんとかしてほしい
- “育休切り”等は論外。罰則規定はできないか

<子育て家庭の負担軽減>

保育料が高い (50 人)

- 保育料をもっと安くしてほしい
- 未満児の保育料金をもっと下げてほしい
- 一時保育や延長保育の利用料金が高く、利用しにくい
- 第三子はいつでも無料にしてほしい
- 保育料の階級をもっと細かく分けて料金設定してほしい
- 働いて収入が増えた分、保育料も高くなり厳しい
- 保育サービスは充実しているが、利用料が高く、経済的に余裕のない家庭では利用できない

子育てに対する手当の充実 (35 人)

- 児童手当をもっと増やしてほしい、期間を延長してほしい
- 金銭面で子どもを産むことをあきらめている人もいるので、金銭面での援助
- 母子家庭の児童扶養手当を2か月に1度にしてほしい
- ファミリーサポートセンターや延長保育の料金を、市が補助してほしい
- 育児手当の所得制限を無くしてほしい
- 子育て世帯の賃貸家賃の軽減
- チャイルドシートの貸し出し

出産までにかかる費用の負担が大きい (33 人)

- 出産費用が高い
- 妊婦検診や出産費用の負担軽減
- 産むためにお金がかかり、金銭的に産むことをためらってしまう

- 妊婦検診の補助はとても助かった

子育てに関する費用や保険料の負担が大きい（13人）

- 将来かかる教育費等が不安
- 多く子どもがいればお金がかかる
- 出産前は共働きだったが、今は思うように働けず収入が半減し、将来が不安
- 子どもにかかるお金が安くなればいいと思う

その他意見

子供は欲しいが作れないのが現状、制度の改善が必要（11人）

- 子供を育てることにお金がかかりすぎて、子供を産みたいが産めない。もっとお金がかからないように支援してほしい
- 母親が育児期間は働かなくても生活していけるよう、児童手当や医療費の給付金以外にも、2人目、3人目を産みたくなるような制度を考えてほしい
- 経済的な、あるいは仕事との折り合いがつかず、第2子以降をあきらめる等の声も聞く。最低でも生活には困らない程度の収入がなければ、安心して子供を産み育てることはできない

不況の改善（8人）

- 不景気をなんとかしてほしい
- 社会全体の経済状況が安定して格差のないような生活ができる、行政支援が必要（生活基盤が安定していないと、育児の余裕もなくなる）
- 子育て中の母親でも働けるよう、短時間パートや内職を紹介してほしい

その他（19人）

- 現在の日本では両親とも働くことが多く、また老人は家族で介護が前提となって来ているので、親の世代は忙しく、時間が少ない人も多いが、小学校や地域での参加が非常に多すぎる
- 小学校でもPTA役員等があるのに、その上、町でも役員はやりすぎだと思う。無理して町の役をやっている
- 小学校など親の役員が忙しく、夜、子どもに留守番をさせなくてはならなかったりする
- 住んでできる地域の小学生のマナーが悪い。小学校や児童センターでもやっていい事、やっていけない事の区別のわかる指導をお願いしたい。親はそういう教育をしていないのか？
- 緑地公園をお年寄りの利用にばかり重点をおいている気がする
- アパートや宅地を増やし、子供達の人数を増やせば、明るい須坂になると思う
- フリーペーパー「ペチャクチャ」に市から助成金が出ているが、宣伝が多く、内容は市報とあまり変わらないので、子育て中のお母さんの生の声をもっと聞かせてほしい
- 絵本の読み聞かせは対象年令を分けてみてはどうか
- NPOへそのおがしているリサイクルは、服のみでなく育児用品全般あり、とても良い
- ゆっくり子供と向き合って毎日送ることができれば幸せです
- 夕方の帰宅時間を知らせる音楽は、陽が長くなる時期は18時になっているが、17時にしてほしい。18時だと夕食、入浴が遅くなり、20時すぎに寝ることは不可能
- このアンケートがいかされることを強く希望する

2 小学生児童

問 24 子どもを産み・育てやすい、子ども達がのびのびと安心して住めるまちづくりを進めていくための提案・要望

<母子保健医療体制の充実>

福祉医療費受給の延長（26人）

- 小学3年生までを小学6年生までに延長してほしい
- 中学生まで受給できるようにしてほしい

病児保育の充実（11人）

- 病気になってしまった時に預かってもらえる所があると良い
- 働いていると、子どもが病気の時に何日も休みづらいので、病児保育があるといい

病院（小児科、産婦人科等）の充実、時間延長、スムーズな対応（8人）

- 市内に産科を充実してほしい
- 休日の病院等の診療施設、当番の充実

保健サービスの充実（5人）

- 健診等に時間がかかり、小さい子を連れていると母親の負担になる
- 相談しても曖昧な返答だったり、流れ作業的なものに不満を感じる
- 保健センターでの健診、保健師の質の向上

<保育園・幼稚園の多機能化>

保育園・幼稚園の充実・定員の増加（10人）

- 通常保育の時間をフルタイムで働く人にあわせてほしい
- 保育時間を延長してほしい
- 祖母に2人子どもを見てもらうのは大変なので、1人保育園に入れてほしいと相談したが、断られた。母親でも小さい子を2人みるのは大変なので、考慮してほしい
- 一時保育の充実（色々な保育園で、長時間）

延長保育・夜間保育の充実（2人）

- 朝の延長を7:15位からにしてほしい

子育て支援センター、サービスの充実（2人）

- 生後間もない子を連れて支援センター等に行っても、大きい子の邪魔になってしまうし、怖い。保育園ごとに年齢を分けてくれば、自分の子と同じ位の子の様子も見られる

<放課後児童健全育成事業>

放課後児童クラブ等の数や定員の増加、利用日・時間の拡大（28人）

- 夏休みの開始時間が8時半では遅い。もっと早くしてほしい
- 児童センターの終了時間を延ばしてほしい
- 祖父母が同居していてもみてもらえないこともあるので、受け入れてほしい
- 利用制限はやめてほしい。内容によって優先があり、預けられなかったことがある
- どんぐりクラブもあるが、1箇所まで預かってもらえた方が時間も気持ちもちゆとりがもてる
- 夏休みだけでも預かってほしい

放課後児童クラブ等の対象学年の引き上げをしてほしい（5人）

- 小学6年生まで利用できるようにしてほしい
- 4年生以降、1人で過ごさせるのは不安

児童館等の設備、サービスの充実（3人）

- 自由に行くことができる児童館がほしい
- 小規模でもいいので、日常的に遊びに行けるような児童センターを設置してほしい

放課後の学校利用（3人）

- 学校で放課後18時まで預かってほしい
- 放課後の子ども教室をもっと増やしてほしい

<子どもの個性を伸ばす教育の推進とゆとりの確保>

土曜日授業を復活（2人）

- 土曜日に半日学校があると、平日もっとゆったり過ごせると思う

<遊びや交流の場の整備>

子どもが遊べる公園や施設を増やしてほしい（64人）

- 近くに公園がほしい
- 子どもだけで安心して遊べる場所がたくさんあると良い
- 学校から帰ってからの遊び場がない。学校のグラウンドは遠い
- 公園の遊具が撤去されたあと、木登りなどしていて危険
- 公園が遠く、国道を渡って行くので心配
- 近くに公園がないので、駐車場や道路で遊んでいる

公園の管理、設備の充実（21人）

- 遊具が少ない
- 危険な遊具を撤去した後は、安全な遊具を子どもたちに与えてほしい
- トイレも汚く、あまり利用する気になれない
- 公園の草が伸びていて、夏は遊びに連れて行きたくないような状態

スポーツができるクラブや施設、広場等を作してほしい（11人）

- 広くてのびのび身体を動かせる場所が須坂にもほしい
- サッカーやキャッチボールなどができる広い公園が必要

- マレット場は整備されているが、高齢者の利用が多く、子どもは利用しにくい

地域との交流（6人）

- 近所・地域の交流が大切だと思うが、交流する機会がなく難しい
- 地域の中で子どもたちを見守り、関わりを持ってもらえるような人達のネットワークの充実
- 地域の方も親のように見守り、声をかけてくれる町づくり

＜安全で快適な生活環境の整備＞

道路整備や歩道の確保、通学路の安全確保（20人）

- 街灯や歩道の整備、踏み切りの整備等
- 狭い道への歩道の設置、歩道にガードレールをつけてほしい
- 通学時に国道を渡るので安全面の確保（歩道橋の設置や信号の設置）
- 須坂小学校で登下校時、信号のない県道に旗を持ち、子どもの横断の手伝いする方がいます。自分の子供の通っている学校にもそのような方がいると助かる

不審者対策など治安維持（17人）

- 下校時など、夕方のパトロールを強化して欲しい
- 子どもたちだけでも遊べるように、警察官が見回りをしたり、町で協力してほしい
- 不審者が出たとの知らせはあるが、その後どうなったのかの情報が無い
- 常に安心できる処点の様な所がほしい（町中だとコンビニやお店があるが、農村地帯は無い）

安心して子供を育てられる環境の整備（7人）

- 町全体で子どもを育てられるような、子どもとのふれあいを大切にできる環境になってほしい
- 子どもを育てる親達が生活しやすい町・市にしていけないといけない
- もっと産んで育てられる安心感が持てるようにしてほしい

校舎の耐震強化、設備充実（2人）

- 学校が古く、耐震性が心配
- 学校のトイレが少ない

＜人材の育成と確保＞

子育てに関わる人材の育成や養成が必要（7人）

- 教師などがしっかりと子ども達を怒るのではなく叱れる環境を作るべき
- もっと先生の適正をみてほしい
- 児童センターの所長が怒ってばかりで相談できない

＜情報提供と相談支援体制の充実＞

子育て支援について分かりやすくアピールしてほしい（7人）

- 事業などHPですぐに確認できれば、色々情報を得ることができる
- 引っ越してくると施設や駐車場の有無などが分からない
- 子育て支援が充実していても、周知されていないと利用しづらく具体的に結びつかない
- 色々な情報をメール配信してほしい

＜子育てと就労の両立支援＞

子供がいても安心して働ける職場環境の整備（14人）

- パートだからといって休みやすいとは限らず、何度も会社を休むとクビになるかと思った
- 父親も育休や、子どもの病気や行事等の時に休みを取りやすいような環境
- 子育て世代を雇用している企業に援助などをしたらどうか
- 病気の時に預かってもらえる場所も必要だが、仕事を休める環境の方が母親は負担を感じない

土日や長期休暇、緊急時、時間外等の一時預かりの充実（8人）

- 小学生は休みも多く、仕事とも両立が大変に感じる
- 土曜日も預かってほしい
- 急な時にも低料金で預けられるところがあるといい
- 長期休みの時だけでも、児童センターの対象学年を6年までにしてほしい

仕事と育児が両立できる環境（7人）

- 仕事と家庭の両立が出来る環境、子育てサポート支援の充実
- 内職情報やパート情報を市のほうで紹介してほしい
- 保育園からの「早くお迎えをお願いします」とか「スキンシップが足りないみたいです」など何気ない言葉も、時間に追われ必死になって頑張っている母親にとってはキツイ言葉だった

P T A等の役員活動が負担（5人）

- P T Aの役員会議が夜なので、子どもを預かってもらえると助かる

- 仕事と子育てをして、町の役員もでは大変

男性の理解・協力（４人）

- 家庭における父親の分担がもっとあれば、女性は子どもを沢山産めると思う
- 父親も子育てに参加できるようにする必要がある

<子育て家庭の負担軽減>

子育てに対する手当の充実（１６人）

- 収入に合わせて医療費負担の上限を作してほしい
- 出産一時金や児童手当等を充実してほしい
- 児童手当の対象年齢をもっと延ばしてほしい
- 母子支援の見直し検討

保育料や教育費、医療費などの負担軽減（１５人）

- 保育料が高すぎる
- 妊婦健診や出産費用の軽減
- 学校給食の物は市販より高いものが多く、経済的に厳しい
- きょうだいが同時入所でもなくとも保育料を減額してほしい
- 医療費の一時払いを無くしてほしい

子育てに関する費用や保険料の負担が大きい（８人）

- 子どもを産むことで失職や金銭的な不安があり、もっと産みたいと思ったが諦めた
- 出産にお金がかかりすぎて、スタート地点から経済的なことが大きな課題
- 子どもが多ければ収入もほしいが、保育園の延長保育等が有料だと何のために働いているのか分からなくなる
- 小学校で何かと集金がある

子育て支援の充実（６人）

- 他市町の子育て支援を見習ってほしい
- 乳幼児だけでなく、児童・学生への支援も充実してほしい
- 片親や就労等の条件を問わず、皆が受けられる行政サービスを望む

その他意見

親の教育も必要（２人）

- 親達がもう少し自分の子供に関心を持ってもらいたい
- 大人に対する教育も必要

その他（５３人）

- 親のストレスが少しでも和らぐよう、地域で支援できるネットワークを充実してほしい
- 障害児に対する様々な面で支援が受けられるよう検討してほしい
- 図書館や分館を作って、もっと広く利用を促してほしい。今は一部の人が利用している
- 市報を見ると、子どもなんでも相談室がいつも同じ曜日で利用できない
- 児童センターなどは、行っても中に入りにくい雰囲気がある
- 子育ては 24 時間 365 日だが、役所等が提供するサービスは平日・昼間を前提としている
- 外国籍の母親達のケアも必要。友人が少なくストレスになったり、日本語の読み書きができず子どもに教えられないと悩んでいる人もいる
- 子育て家庭に買い物券などがあるといい
- 1 人でもやもやしている人もいると思うので、もっと相談しやすいところがあるといい
- 学校は 8 時前でも玄関を開けてほしい（冬は寒いなか待っている）
- 市のセミナー等は利用しづらく、利用したことがない
- アンケート結果を公表してほしい
- 入園料や入館料、入場料といったものは、子どもはすべて無料にしてほしい
- 若い人達が住める仕事がある町にしてほしい